

鳥取市教育委員会事務の
自己点検・評価報告書
(平成28年度事業分)

平成30年2月

鳥取市教育委員会

目次

I はじめに

1 制度の目的	1
2 点検・評価の対象	1
3 点検・評価の方法	2
4 自己点検・評価対象事業一覧	3～7

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員選任状況	8
2 教育委員会会議の開催状況	8
3 教育委員会審議案件	9
4 その他の活動状況	10～11

III 教育委員会の機構及び事務分掌

12～13

IV 点検・評価の結果

1 社会を生きぬく力を育む特色ある教育の推進	
(1) 自立と創造の学校づくり推進事業	[学校教育課] 16～17
(2) 小学校外国語活動人材支援事業	[学校教育課] 18～19
(3) 地域で学ぶ職場体験活動事業	[学校教育課] 20～21
2 学校・家庭・地域の連携による教育支援	
(1) 未来のとっとり教育創造事業	[学校教育課] 22～23
(2) 放課後児童対策事業	[学校教育課] 24～25
(3) 特別支援教育支援員配置事業	[学校教育課] 26～27
3 信頼される教育環境の充実	
(1) 学校維持補修事業（小学校・大規模）	[教育総務課] 28～29
(2) 学校維持補修事業（中学校・大規模）	[教育総務課] 30～31
(3) 特色ある小中9年教育支援事業	[教育総務課] 32～33
(4) スクールソーシャルワーカー活用事業	[学校教育課] 34～35
4 ふるさと愛を育む教育の推進	
(1) 中山間地域ふるさと体験活動支援事業	[学校教育課] 36～37
(2) 人権教育推進・人権教育研究推進事業	[学校教育課] 38～39

5	生涯にわたり心豊かに学び育つことができる環境の充実	
(1)	市民大学開設事業	〔生涯学習・スポーツ課〕 40～41
(2)	高齢者生きがい促進総合事業	〔生涯学習・スポーツ課〕 42～43
(3)	子育て講座開設事業	〔生涯学習・スポーツ課〕 44～45
6	歴史と文化が息づくふるさとの創生	
(1)	上寺地遺跡管理事業	〔文化財課〕 46～47
(2)	美歎水源地保存整備事業	〔文化財課〕 48～49
7	魅力ある読書環境づくりの推進	
(1)	図書館情報管理システム処理事業	〔中央図書館〕 50～51
(2)	地域社会教育活動総合事業	〔中央図書館〕 52～53
(3)	学校図書館活用推進事業	〔中央図書館〕 54～55
8	子どもの健全な食生活の推進	
(1)	給食調理委託事業	〔学校保健給食課〕 56～57
(2)	学校給食未納対策事業	〔学校保健給食課〕 58～59
(3)	学校給食食物アレルギー対策事業	〔学校保健給食課〕 60～61
9	すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興	
(1)	子どものころづくり支援事業	〔生涯学習・スポーツ課〕 62～63
(2)	市民体育祭開催事業	〔生涯学習・スポーツ課〕 64～65
(3)	体育施設管理事業	〔生涯学習・スポーツ課〕 66～67
V	学識経験者の意見（総評）	68～69

I はじめに

1 制度の目的

鳥取市教育委員会は、子どもたちが、自らの道を選び社会へはばたいていくため、ふるさとへの思いや志をもち、たくましく活躍できる人づくりを基本理念とし、学校教育の充実を図り、質を高める「知を開く」、郷土愛を醸成し豊かな心を育む「徳を啓く」、未来を創造する健やかな体を育む「体を拓く」、という3つの「ひらく」を推進しております。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

鳥取市教育委員会は、この法の趣旨に則し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、平成28年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。点検・評価に当たっては、学識経験を有する者によるヒアリングを受け、主要な事業の評価及び全体的な総合評価をいただきました。

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

鳥取市では、市長部局、議会事務局、各行政委員会等を対象とした「第10次総合計画」（計画年度：平成28～32年度）に基づき、各種事務事業の行政評価を実施しています。平成23年度から内部事務システムに組み込んだ内部評価を、さらに財務会計システムと連動して本格稼働させており、平成29年度（28年度事業対象）の点検・評価に当たっては、この行政評価を活用するとともに、対象事業の中から、鳥取市教育委員会が重点的に取り組んでいる事業として26事業を抽出し、教育的観点を加えて点検・評価を実施しました。

3 点検・評価の方法

事業ごとの自己点検・評価シートに、教育委員会の自己評価を記入したうえで、学識経験者の所見をいただきました。

さらに、学識経験者からは点検・評価結果全体に対する総合評価をいただきました。

【点検・評価シートの構成】

- ① 基本情報
(総合計画の位置付け)
- ② 事業目的
(対象、意図、手段)
- ③ 事業の年度別計画・実績
- ④ 平成28年度の事務事業実施概要
- ⑤ 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標
- ⑥ 活動指標の達成率
- ⑦ 評価
- ⑧ 事業の成果を踏まえた今後の方向性
- ⑨ 学識経験者の所見

【ご意見をいただいた学識経験者】

- 鳥取大学 理事（教育・国際交流担当）・副学長 中島廣光 氏
- 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科 教授 石川真澄 氏

4 自己点検・評価対象事業一覧 (H28年度実績)

[鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧]

※ は点検・評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署
I 学校教育の充実を図りその質を高めます！ 【知を開く】	(1) 社会を生きぬく力を育む特色ある教育の推進	1 鳥取市だからこそできるきめ細やかな教育を推進し、将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材の育成に取り組みます。	1 小学校理科教育パワーアップ事業費	学校教育課
			2 自立と創造の学校づくり推進事業費	学校教育課
			3 防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業費	学校教育課
			4 複式学級対策事業費	学校教育課
			5 小学校3～6年生における35人学級実施事業費	学校教育課
			6 中学校2・3年生における35人学級実施事業費	学校教育課
			7 遠距離通学費補助金(小学校)	学校保健給食課
			8 遠距離通学費補助金(中学校)	学校保健給食課
			9 要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)	学校保健給食課
			10 要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)	学校保健給食課
		2 ICTの活用、グローバル化に対応した英語教育、アクティブ・ラーニングなどを取り入れた授業改革をとおして教師の指導力向上、キャリア教育の充実を図り、子ども一人ひとりが広い視野を持った主体的な学びの実現を目ざします。	11 鳥取市グローバル人材育成事業費	教育総務課
			12 語学指導等外国青年招致事業費	教育センター
			13 小学校外国語活動人材支援事業費	教育センター
			14 教育センター運営事業費	教育センター
	3 子どもたちが自己の能力と可能性を最大限に高め、様々な人々と協調・協働しつつ自己実現を図り、社会の一員としての役割と責任を果たすために必要な力を育みます。	15 外国人児童生徒編入学支援事業費	学校教育課	
		16 地域で学ぶ職場体験活動事業費	学校教育課	
	(2) 学校・家庭・地域の連携による教育支援	1 学級や学校の自治力を高めるとともに、各中学校区の特色を生かした保幼小中・小中一貫教育を推進し、地域にひらかれた教育の実現を目ざします。	17 幼保小連携推進モデル事業費	学校教育課
			18 特色ある中学校区創造事業費	学校教育課
			19 未来のとっとり教育創造事業費	学校教育課
			20 学力向上推進事業費	学校教育課
		2 保護者が子どもの教育について第一義的責任を有することを前提としながらも、放課後児童対策など様々な機会や場を通して、子どもの健全な育成を図る地域との連携・協働体制の確立を目ざします。	21 放課後児童対策事業費	学校教育課
			22 学校安全対策費	学校教育課
			23 放課後子ども教室推進事業費	学校教育課
			24 地域教育力向上モデル事業費	学校教育課
			25 地域で育む学校支援ボランティア事業費	学校教育課
		3 特別な支援を必要とする子どもがその能力や可能性を最大限に伸ばし、社会の中で生き生きと暮らしていくため、一人ひとりのニーズに応じた教育の実現を目ざします。	26 発達障害早期支援研究事業費	教育センター
	27 特別支援教育支援員配置事業費		教育センター	
	28 早期からの教育相談・支援体制の構築事業費		教育センター	

4 自己点検・評価対象事業一覧 (H28年度実績)

[鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧]

※ は点検・評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署		
I 学校教育の充実を図りその質を高めめます！ 【知を開く】	(3) 信頼される教育環境の充実	1 子どもが生き生きと学び活動できる環境を整えるため、老朽化した施設の改修や、猛暑対策などの学校施設の充実を図ります。	29 学校維持補修費(小学校・通常)	教育総務課		
			30 学校維持補修費(小学校・大規模)	教育総務課		
			31 特別教室等整備費(小学校)	教育総務課		
			32 学校維持補修費(中学校・通常)	教育総務課		
			33 学校維持補修費(中学校・大規模)	教育総務課		
			34 特別教室等整備費(中学校)	教育総務課		
			35 北中学校校舎改築事業費	教育総務課		
			36 青谷中学校校舎改築事業費	教育総務課		
			37 気高中学校校舎改築事業費	教育総務課		
			38 気高中学校屋内運動場耐震補強事業費	教育総務課		
			39 桜ヶ丘中学校屋内運動場耐震補強事業費	教育総務課		
			40 補助災害復旧費(小・中学校施設)	教育総務課		
			41 単独災害復旧費(小・中学校施設)	教育総務課		
		2 学校と地域が一体となって校区のあり方を検討することで、地域の実情に応じた活力ある学校づくりを目指します。	42 特色ある小中9年教育支援事業費	教育総務課		
			43 小規模校転入制度推進費	学校教育課		
		3 教職員の多忙化を解消し教育の質の向上を目指しながら、学校運営システムを充実させ、学校事務の効率化と学校間の事務の共同化を図ります。	44 校務支援事業費	学校教育課		
			45 生徒指導専任相談員事業費	学校教育課		
			46 スクールソーシャルワーカー活用事業費	学校教育課		
		II 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！ 【徳を啓く】	(1) ふるさと愛を育む教育の推進	1 本市の持つ豊かな自然、産業、歴史、芸術、文化財等の地域資源を活用し、ふるさとに対する理解をひらき、“ふるさとを思い 志をもつ子”を育てます。	47 姫路市鳥取市中学生交流事業費	学校教育課
					48 郡山市鳥取市小学生交流事業費	学校教育課
49 道徳教育実践研究事業費	学校教育課					
2 地域の協力を得て、子どもに、地域資源を活かした多様な体験・交流活動への参画を促しながら、達成感を味わわせ、未来に向けてたくましく生き抜く力を育てます。	50 中山間地域ふるさと体験活動支援事業費			学校教育課		
3 様々な学びや体験を通して、自分をとりまく人々への感謝や敬愛、命の大切さや善悪の判断などの豊かな心を育むとともに、人を大切に人権教育の充実を図ります。	51 人権教育推進費(人権教育研究推進事業)			学校教育課		
	52 人権教育推進費(いじめ防止教育推進事業)			学校教育課		
	53 人権教育推進費(携帯インターネット教育啓発推進事業)	学校教育課				

4 自己点検・評価対象事業一覧（H28年度実績）

〔鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧〕

※ は点検・評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署	
II 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！ 【徳を啓く】	(2) 生涯にわたり心豊かに学び育つことができる環境の充実	1 市民が自発的に、自由に学ぶことのできる多様な学習機会や情報の提供の充実を図ることで、生涯学習社会の実現を旨とします。	54 生涯学習推進事業費	生涯学習・スポーツ課	
			55 市民大学開設費	生涯学習・スポーツ課	
			56 地区公民館事業費	生涯学習・スポーツ課	
			57 文化センター施設管理委託費	生涯学習・スポーツ課	
			58 勤労青少年ホーム施設管理費	生涯学習・スポーツ課	
			59 勤労青少年ホーム施設整備費	生涯学習・スポーツ課	
			2 市民が学んだ成果を、地域で生かしながら自己実現を図り、生きがいに満ちた暮らしができる地域づくりに貢献します。	60 高齢者生きがい促進総合事業費	生涯学習・スポーツ課
				61 ろうあ成人学級開設費	生涯学習・スポーツ課
		3 地域の大人や子どもの保護者に自らの役割と責任の自覚を促し、人としての大切な生き方を共有して、子どもとともに“学び”“育つ”ことのできる地域社会の形成につなげます。	62 青年団体育成費補助金	生涯学習・スポーツ課	
			63 成人式開催費	生涯学習・スポーツ課	
			64 子育て講座開設費	生涯学習・スポーツ課	
			65 ものづくり道場推進事業費	生涯学習・スポーツ課	
			66 地域プラットフォーム形成支援事業費	生涯学習・スポーツ課	
			67 サイクリングターミナル運営管理費等	生涯学習・スポーツ課	
			68 さじアストロパーク運営管理費	生涯学習・スポーツ課	
			69 さじアストロパーク企画イベント等事業費(佐治)	生涯学習・スポーツ課	
			70 単独災害復旧費(社会教育施設)【鳥取県中部地震関連】	生涯学習・スポーツ課	
			(3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生	1 文化芸術の振興や文化財への愛護精神の高揚を図ります。さらに、文化財の保護と活用を進めることにより次世代へ継承します。	71 市中学校文化連盟補助
	72 指定文化財等管理	文化財課			
	73 史跡鳥取藩主池田家墓所管理	文化財課			
	74 上寺地遺跡管理	文化財課			
	75 文化財調査	文化財課			
	76 青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理	文化財課			
	2 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。	77 鳥取城跡保存修理事業		文化財課	
		78 美敷水源地保存整備事業		文化財課	
		79 歴史博物館管理		文化財課	
	3 情報発信を促進し、観光客など多くの人々が来訪する、歴史と文化の薫りに満ちた活力あるまちづくりを推進します。	80 仁風閣・宝扇庵管理		文化財課	
		81 因幡万葉歴史館管理		文化財課	
		82 文化財団運営補助金事業		文化財課	

4 自己点検・評価対象事業一覧 (H28年度実績)

[鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧]

※ は点検・評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署		
II 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！ 【徳を啓く】	(4) 魅力ある読書環境づくりの推進	1 年齢や障がい等に関わらず、すべての市民が読書を通して、豊かな心や夢を育み、人づくりや地域づくりを推進します。	83 図書館情報管理システム処理費	中央図書館		
			84 コンビニ取次サービスモデル事業費	中央図書館		
			85 地域社会教育活動総合事業費	中央図書館		
		2 本と人、人と人との様々な出会いの場をつくり、市民が集いにぎわい、つながり合う交流を促進し、更なる地域文化の創造を支援します。	86 学校図書館活用推進事業費	学校教育課		
		III 未来を創造する健やかな体を育みます！ 【体を拓く】	(1) 子どもの健全な食生活の推進	1 栄養バランスのとれたおいしい給食を提供するとともに、地元食材を活用した献立を作成するなど、地産地消を推進し、子どもの心身の健康の保持増進を図ります。	87 給食配送委託費	学校保健給食課
					88 給食調理委託費	学校保健給食課
					89 準要保護児童・生徒給食扶助費(小学校)	学校保健給食課
90 準要保護児童・生徒給食扶助費(中学校)	学校保健給食課					
91 備品整備(学校給食センター)	学校保健給食課					
92 学校給食未納対策費	学校保健給食課					
2 学校給食施設・設備の充実や、食物アレルギー対応を推進し、安全で安心な学校給食の提供を図ります。	93 学校給食食物アレルギー対策事業費			学校保健給食課		
3 食の大切さ、正しい食習慣等を養うとともに、学校・家庭・地域が一体となった学習・体験・交流による食育の推進を図ります。	94 研修費(学校給食)	学校保健給食課				

4 自己点検・評価対象事業一覧 (H28年度実績)

[鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧]

※ は点検・評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署
Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！ 【体を拓く】	(2) すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興	1 幼児期からの運動やスポーツに親しむ機会を充実し、子どもの体力向上を図りながら、豊かな心と健やかな体を育みます。	95 ガイナーレ鳥取力向上事業費	生涯学習・スポーツ課
			96 スポレク祭開催費	生涯学習・スポーツ課
			97 小中学校体育連盟補助金	生涯学習・スポーツ課
			98 子どものころづくり支援「夢の教室」事業費	生涯学習・スポーツ課
			99 子どもの身体・健康づくり推進事業費	生涯学習・スポーツ課
		2 2020年東京オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、競技人口の増加と競技力向上に努めながら、スポーツをすることの楽しさを伝え、運動意欲の向上に取り組みます。	100 市民体育祭開催費	生涯学習・スポーツ課
			101 姫路市スポーツ大会開催費	生涯学習・スポーツ課
			102 鳥取マラソン開催費	生涯学習・スポーツ課
			103 キャンプ地誘致推進事業費	生涯学習・スポーツ課
			104 オリンピック等出場支援事業費	生涯学習・スポーツ課
		3 年齢や障がい等に関わらず、すべての市民がいつでもスポーツに親しめるよう、各地域や各種団体のスポーツ推進人材を育成し、市民が主体的に活動できる環境の整備を図ります。	105 体育施設管理費	生涯学習・スポーツ課
			106 地区体育館耐震改修等事業費	生涯学習・スポーツ課
			107 サッカー場整備費	生涯学習・スポーツ課
			108 屋外体育施設管理費	生涯学習・スポーツ課
			109 海洋センター管理費	生涯学習・スポーツ課
110 プール管理費	生涯学習・スポーツ課			
111 単独災害復旧費(社会体育施設) 【鳥取県中部地震関連】	生涯学習・スポーツ課			

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員選任状況（平成28年度）

職名	氏名	備考
教育長	木下 法広	H27.10.1～（2期目）
教育長職務代理者	山脇 彰子	H26.10.9～
委員	石谷 充	H28.10.1～（2期目）
委員	藤井 喜臣	H27.7.1～
委員	畑 千鶴子	H27.10.15～

2 教育委員会会議の開催状況

定例教育委員会	12回（毎月1回）
臨時教育委員会	3回

3 教育委員会審議案件

(1) 教育委員会規則・訓令の制定及び改廃	……	15件
(2) 条例改正及び予算の議案についての意見申出	……	9件
(3) 職員の人事に関する事	……	3件
(4) 工事請負契約の締結・変更及び財産の取得に関する事	…	4件
(5) その他	……	2件
合計	……	33件

【教育委員会審議案件一覧】

議案番号	提出(審議)日	種別	件名	担当課
第24号	H28. 4. 27	規程(訓令)	鳥取市教育委員会事務局等組織規則の一部改正について	教育総務課
第25号	〃	人事	教職員の処分について	学校教育課
第26号	H28. 5. 26	予算	平成28年度鳥取市一般会計補正予算(6月補正)について	各課
第27号	〃	規則	鳥取クレ射撃場の設置及び管理に関する条例施行規則の廃止について	生涯学習・スポーツ課
第28号	〃	契約締結	工事請負契約の締結について	文化財課
第29号	〃	その他	専決処分事項の報告について	教育総務課
第30号	〃	その他	第13期鳥取市校区審議会の諮問について	教育総務課 校区審議室
第31号	H28. 6. 29	予算	平成28年度鳥取市一般会計補正予算(6月追加補正)について	各課
第32号	〃	規程(訓令)	鳥取市立小学校及び中学校職員服務規程の一部改正について	学校教育課
第33号	H28. 8. 31	予算	平成28年度鳥取市一般会計補正予算(9月追加補正)について	各課
第34号	H28. 11. 29	予算	平成28年度鳥取市一般会計補正予算(12月追加補正)について	各課
第35号	〃	条例	鳥取市スクールバスの運行及び利用に関する条例の廃止について	学校保健給食課
第36号	〃	規則	鳥取市スクールバスの運行及び利用に関する条例施行規則の廃止について	学校保健給食課
第37号	〃	契約締結	工事請負契約の締結について	教育総務課
第38号	〃	契約締結	工事請負契約の締結について	文化財課
第39号	〃	予算	平成28年度鳥取市一般会計補正予算(11月追加補正)について	各課
第40号	H28. 12. 27	規則	鳥取市立小学校及び中学校管理規則の一部改正について	学校教育課
第41号	〃	規則	鳥取市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第1号	H29. 2. 20	予算	平成27年度鳥取市一般会計補正予算(2月補正)について	各課
第2号	〃	予算	平成28年度鳥取市一般会計当初予算について	各課
第3号	〃	規則	鳥取市立小学校及び中学校管理規則の一部改正について	学校教育課
第4号	〃	規則	鳥取市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	学校教育課
第5号	〃	規則	鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について	中央図書館
第6号	〃	契約締結	工事請負契約の締結について	教育総務課
第7号	H29. 3. 14	予算	平成28年度鳥取市一般会計補正予算(2月補正追加)について	各課
第8号	〃	人事	平成29年度教職員定期人事異動の内申について	学校教育課
第9号	H29. 3. 21	規程(訓令)	鳥取市教育委員会事務局等の職員の職名規則の一部改正について	教育総務課
第10号	〃	人事	教育長の辞職への同意について	教育総務課
第11号	H29. 3. 28	規則	鳥取市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第12号	〃	規則	鳥取市社会教育指導員に関する規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第13号	〃	規程(訓令)	鳥取市教育委員会事務局等組織規則の一部改正について	教育総務課
第14号	〃	規程(訓令)	鳥取市教育委員会事務局等の職員服務規程の一部改正について	教育総務課
第15号	〃	規程(訓令)	鳥取市教育委員会事務局決裁規程の一部改正について	教育総務課

4 その他の活動状況

(1) 学校計画訪問

教育現場の実態や課題を把握するとともに、指導や助言を行い、適切な学校運営を支援するため、年次計画的に学校訪問を実施しており、28年度は5月から12月にかけて下記の学校を訪問し、授業（指導案、学習過程）及び学級経営等への指導をとおして、教職員の資質（授業力・教師力）の向上を図りました。

【平成28年度 学校計画訪問実施校】

小学校	散岐小学校、明治小学校、中ノ郷小学校、修立小学校、米里小学校、神戸小学校、鹿野小学校、賀露小学校、世紀小学校、富桑小学校、面影小学校、稲葉山小学校（12校）
-----	--

(2) 協議会、研修会等への出席

時 期	内 容
7月1日	鳥取県東部地区市町教育委員会研究協議会（鳥取市） 意見交換…教職員の多忙化解消に向けた取組みについて
7月8日	鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会（倉吉市）
7月8日	鳥取県市町村教育委員会研究協議会研究大会（倉吉市） 研究発表 「若桜町の教育行政」 「米子市の学校教育」 「山上億良 伯耆守赴任 1300年記念プロジェクトの取組み」
7月27日	第1回教育委員研修会 指定文化財整備の視察(重要文化財旧美歎水源池・鳥取城跡) 体育施設の視察（市民体育館）
8月1日	市町村教育委員会委員研修会（倉吉市） 講演 小中学校児童・生徒の学力向上に係る福井県の取組について 研究分科会
10月28日	第2回教育委員研修会（鳥取市教育センター） 給食費等の公会計化への移行について 教育委員会分室のあり方検討について 総合教育会議の議題について
1月26日	市町村教育委員研究協議会（福岡市） 講演 初等中等教育施策の動向について 研究分科会

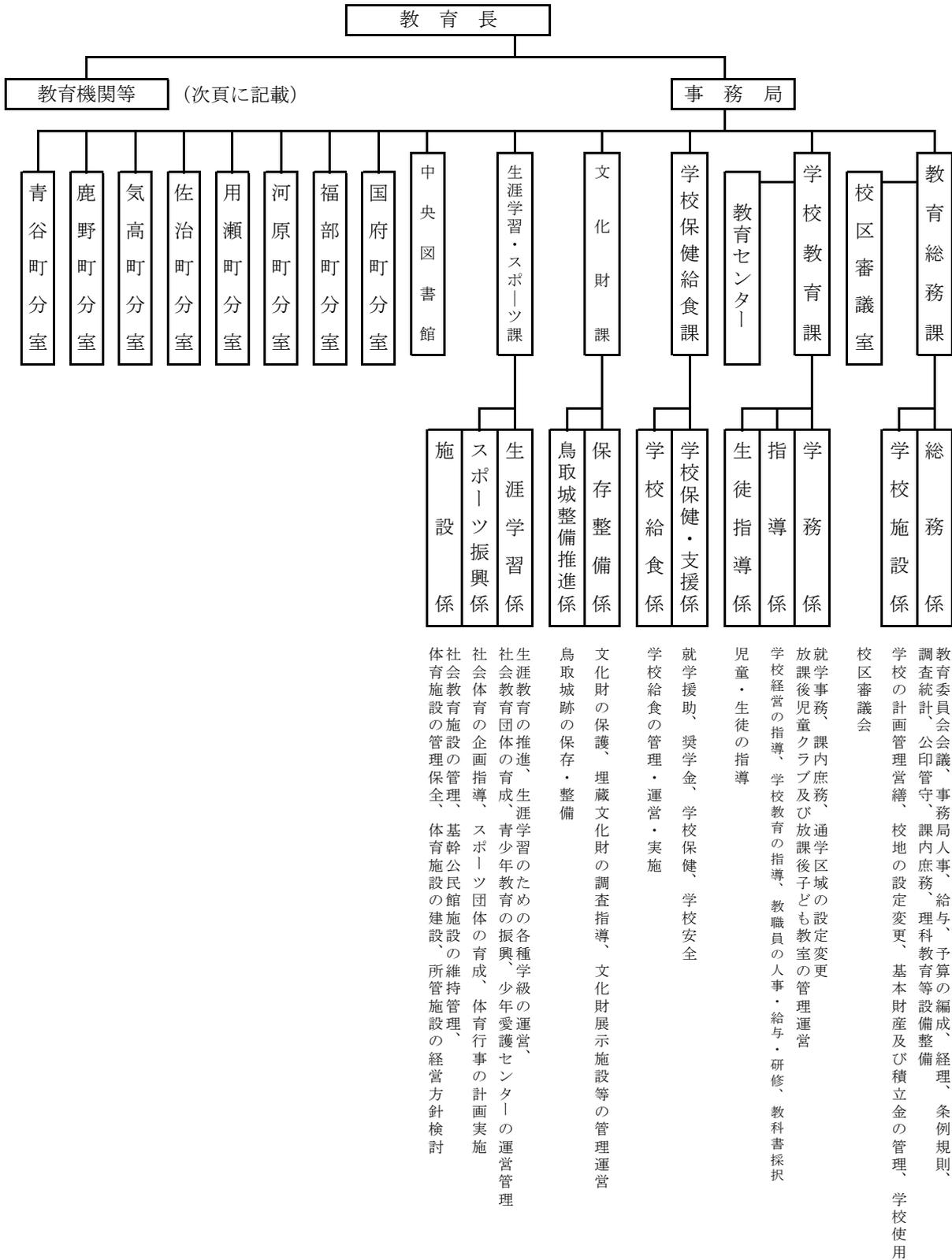
1月27日	第3回教育委員研修会（鳥取市役所本庁舎） 平成29年度教育委員会の取組みについて
-------	---

(3) 総合教育会議

時 期	内 容
第 1 回 (11月29日)	給食費等の公会計化への移行について 全国学力・学習状況調査の結果について 平成29年度教育に関する施策について

Ⅲ 教育委員会の機構及び事務分掌

平成29年4月1日現在



●教育機関等施設所在地

新番号	名 称	新番号	名 称	新番号	名 称	新番号	名 称
	〔市役所〕	58	西中学校	123	成器地区公民館	169	千代テニス場
1	鳥取市役所本庁舎	59	南中学校	124	谷地区公民館	170	城北テニス場
2	市役所第2庁舎	60	北中学校	125	宮下地区公民館	171	とりぎんバードスタジアム
3	市役所駅南庁舎	61	江山中学校	126	あおば地区公民館	172	国府町農村勤労福祉センター
4	国府町総合支所	62	高草中学校	127	福部地区公民館	173	国府町運動場
5	福部町総合支所	63	湖東中学校	128	河原地区公民館	174	鳥取市若葉台スポーツセンター
6	河原町総合支所	64	湖南学園中学校	129	国英地区公民館	175	福部町ほっとスマイルプール
7	用瀬町総合支所	65	桜ヶ丘中学校	130	八上地区公民館	176	福部町グラウンド
8	佐治町総合支所	66	中ノ郷中学校	131	散岐地区公民館	177	福部町テニスコート
9	気高町総合支所	67	国府中学校	132	西郷地区公民館	180	佐治町B&G海洋センター
10	鹿野町総合支所	68	福部未来学園中学校	133	社地区公民館	181	佐治町多目的運動広場
11	青谷町総合支所	69	河原中学校	134	用瀬地区公民館	182	気高町B&G海洋センター
	〔市立小学校〕	70	千代南中学校	135	大村地区公民館	183	気高町運動広場
12	久松小学校	72	気高中学校	136	佐治地区公民館	184	気高町龍見台テニスコート
13	醇風小学校	73	鹿野中学校	137	宝木地区公民館	185	鹿野町B&G海洋センター
14	遷喬小学校	74	青谷中学校	138	酒津地区公民館	186	鹿野町運動広場
15	修立小学校		〔市立幼稚園〕	139	瑞穂地区公民館	187	青谷町グラウンド
16	日進小学校	75	福部未来学園幼稚園	140	逢坂地区公民館	188	青谷町グラウンドゴルフ場
17	富桑小学校	76	河原あゆっこ園	141	浜村地区公民館		〔武道館〕
18	稲葉山小学校	77	幼児センターこじか園	142	鹿野地区公民館	189	鳥取市武道館
19	城北小学校		〔教育センター〕	143	勝谷地区公民館	196	鳥取市弓道場
20	美保小学校	78	教育センター	144	小鷲河地区公民館	190	福部町武道館
21	賀露小学校		〔中央公民館〕	145	青谷地区公民館		〔学校給食施設〕
22	明德小学校	79	中央公民館	146	日置地区公民館	191	第一学校給食センター
23	倉田小学校		〔地区公民館〕	147	日置谷地区公民館	192	第二学校給食センター
24	面影小学校	88	久松地区公民館	148	勝部地区公民館	193	湖東学校給食センター
25	神戸小学校	89	遷喬地区公民館	149	中郷地区公民館	194	国府学校給食センター
26	美和小学校	90	城北地区公民館		〔主なコミュニティ施設〕	195	河原学校給食センター
27	大正小学校	91	浜坂地区公民館	80	国府町コミュニティセンター	197	気高学校給食センター
28	東郷小学校	92	中ノ郷地区公民館	81	福部町コミュニティセンター	198	鹿野学校給食センター
29	明治小学校	93	醇風地区公民館	82	河原町コミュニティセンター	199	青谷学校給食センター
30	世紀小学校	94	修立地区公民館	83	用瀬町民会館		〔主な文化観光施設〕
31	湖山小学校	95	日進地区公民館	84	佐治町コミュニティセンター	200	仁風閣
32	湖南学園小学校	96	富桑地区公民館	85	気高町コミュニティセンター	201	鳥取世界おもちゃ館 (わらべ館)
33	末恒小学校	97	明德地区公民館	87	青谷町コミュニティセンター		〔生涯学習施設〕
34	米里小学校	98	美保地区公民館		〔生涯学習施設〕	202	鳥取市歴史博物館 (やまびこ館)
35	津ノ井小学校	99	美保南地区公民館	150	鳥取市文化センター	203	因幡万葉歴史館
36	浜坂小学校	100	稲葉山地区公民館	151	鳥取市こども科学館	204	河原歴史民俗資料館
37	岩倉小学校	101	岩倉地区公民館	152	鳥取市福祉文化会館	205	用瀬郷土歴史館
38	美保南小学校	102	倉田地区公民館	153	鳥取市勤労青少年ホーム	206	佐治天文台 (さじアストパーク)
39	湖山西小学校	103	面影地区公民館	154	鳥取市サイクリングターミナル 砂丘の家	207	佐治歴史民俗資料館
40	中ノ郷小学校	104	津ノ井地区公民館	155	鳥取市視聴覚ライブラリー	208	青谷上寺地遺跡展示館
41	若葉台小学校	105	若葉台地区公民館	213	鳥取市生涯学習センター	209	あおや郷土館
42	宮ノ下小学校	106	米里地区公民館		〔主な体育施設〕		〔図書館〕
43	国府東小学校	107	神戸地区公民館	156	市民体育館	210	鳥取市立中央図書館 (市役所駅南庁舎)
44	福部未来学園小学校	108	大和地区公民館	157	福部町体育館	211	用瀬図書館
45	河原第一小学校	109	美穂地区公民館	158	河原町総合体育館	212	気高図書館
46	西郷小学校	110	東郷地区公民館	159	河原町勤労者体育館		
47	散岐小学校	111	大正地区公民館	160	用瀬町勤労者体育センター		
48	用瀬小学校	112	豊実地区公民館	161	気高町体育館		
49	佐治小学校	113	明治地区公民館	162	気高町勤労者体育センター		
50	宝木小学校	114	松保地区公民館	163	気高町農業者トレーニングセンター		
51	瑞穂小学校	115	湖南地区公民館	164	湖南地区公民館入郷刀館		
52	浜村小学校	116	瑞穂地区公民館	165	鹿野町農業者トレーニングセンター		
53	逢坂小学校	117	末恒地区公民館	166	青谷町体育館		
54	鹿野小学校	118	湖山地区公民館		青谷町農林漁業者トレーニングセンター		
55	青谷小学校	119	湖山西地区公民館				
	〔市立中学校〕	120	賀露地区公民館		〔主なスポーツ施設〕		
56	東中学校	121	千代水地区公民館	167	市民プール		
57	東中学校のぞみ分校	122	大茅地区公民館	168	鳥取市海洋センター		

自己点検・評価の結果

自己点検・評価シート

整理No.	1-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費	所属名	学校教育課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	I 学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(1) 社会を生きぬく力を育む特色ある教育の推進	
	推進施策	1. 鳥取市だからこそできるきめ細やかな教育を推進し、将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材の育成に取り組みます。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	全小・中学校
意 図 (どのような状態 にするために)	市立小中学校が、児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立して創意工夫のある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手 段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、創意や工夫・考え方を審査して予算配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	①実施計画に基づく 予算配分	①実施計画に基づく 予算配分	①実施計画に基づく 予算配分	①実施計画に基づく 予算配分	①実施計画に基づく 予算配分	
	年度別実績	①実施計画に基づく 予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	26,441	0	0	0	0	
	直接経費 A	19,131	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	19,131				
一般財源	0						
人件費 B	7,310	0					
職員数の 内 訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	<p>現在、地域とともにある特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。</p> <p>この事業は、そのような学校経営を後押しするために学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で必要な予算を措置する。</p>
---------------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	実施学校数	校	目標	62	62	59	59	59
				実績	62				
	(指標の説明) 計画書に基づいて特色ある取組を実施した小中学校数								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	実施学校数	校	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	自主的・自律的な学校経営や国がめざす「地域とともにある学校づくり」を後押しする事業となっている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童生徒や保護者、地域の実態や願いが加味された各学校の特色ある教育活動の推進に大いに役立っており、大変有効な事業である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各学校が独自に企画立案した計画書をもとに予算配分をしており、自立と創造の学校づくりに有効に活かされている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内全小中学校で実施し、児童生徒に還元される事業であり、公平性が確保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	それぞれの小中学校で、児童生徒及び保護者、地域の実態や願いが加味された特色ある教育活動が推進されており、「自立と創造の学校づくり」の上で十分な成果が見られ、なくてはならない事業と言える。委託事業として今後も継続したい。	
今後の課題・方向性	本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童生徒の学力はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。地域からも評価が大変高い事業であり、今後は、事業内容の見直しと改善を図りつつ充実させていく方針である。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	これまでは、校長の個人的な教育方針でそれぞれの学校の特色を出したりしていたように感じていたが、これからは地域の実態や、地域からの願いが加味された特色ある教育活動を行うという方向性を打ち出した点を評価したい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	活動指標が実施学校数とされており、その数値から事業の効果を測ることは困難である。実施段階では各学校の計画、実施、評価のプロセスが構築・運用されており、全体として改善に向かうPDCAサイクルは適切に運営されていると評価できる。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	1-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	小学校外国語活動人材支援事業費	所属名	教育センター

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	I	学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】
	政策	(1)	社会を生きぬく力を育む特色ある教育の推進
	推進施策	2.	ICTの活用、グローバル化に対応した英語教育、アクティブ・ラーニングなどを取り入れた授業改革をとおりて教師の指導力向上、キャリア教育の充実を図り、子ども一人ひとりが広い視野を持った主体的な学びの実現を旨とします。

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小学校5、6年生児童
意 図 (どのような状態 にするために)	小学校外国語活動のねらいであるコミュニケーション能力の素地を育成を図る。
手 段 (どうするのか)	小学校5・6年生の外国語活動の授業において、英語力のある地域人材を活用し、1学級あたり年間12時間分の指導援助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	〈5・6年生対象〉 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、5・6年生1クラスあたり12時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う。 ※5・6年生：外国語活動（年間35時間）	〈5・6年生対象〉 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、5・6年生1クラスあたり12時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う。 ※5・6年生：外国語活動（年間35時間）	〈3～6年生対象〉 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、3～6年生1クラスあたり12時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う。 【学習指導要領改訂：先行実施】3・4年生：外国語活動（年間35時間）、5・6年生：外国語科（年間70時間）	〈3～6年生対象〉 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、3～6年生1クラスあたり12時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う。 【学習指導要領改訂：先行実施】3・4年生：外国語活動（年間35時間）、5・6年生：外国語科（年間70時間）	〈3～6年生対象〉 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、3～6年生1クラスあたり12時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う。 【学習指導要領改訂：全面実施】3・4年生：外国語活動（年間35時間）、5・6年生：外国語科（年間70時間）	
	年度別実績	・配置校：市内44校中41校（2名配置は2校） ・配置支援員数：20名 ・実施回数：1275回					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,361	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,051	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	2,051						
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	小学校外国語活動のねらいであるコミュニケーション能力の素地の育成を図るために、外国語活動の授業を補助する英語力のある地域人材を活用し、小学校の外国語活動の円滑な実施と充実した外国語活動の実践を行う。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	派遣回数	回	目標	1,608	1,551	3,276	3,276	3,276
				実績	1,275				
	(指標の説明) 支援員を外国語活動授業補助及び授業に関する打合せで学校に派遣した回数								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	派遣回数	回	79%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	急速に進展する社会のグローバル化に伴い、小学校における外国語教育のさらなる充実が求められており、本事業が本市児童の英語を活用したコミュニケーション能力の素地を養うことに果たす役割は大きい。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	活用時間数は、平成26年度885回、平成27年度1192回、平成28年度1275回と、年々増加しており、今後、さらに学校現場から人材支援の要請が増えていくものと思われる。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	今後ますます外国語教育の充実が求められる中、在留外国人が少ない本市の状況から考えると、行政が支援して地域人材を発掘し、学校現場に紹介する仕組みは必要である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全小学校を対象としており、支援員派遣を希望した41校の小学校全てに支援員を配置している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	平成30年度からの5・6年生での外国語科、3・4年生での外国語活動先行実施に対応するため、さらに支援員の人材を確保し、外国語教育の一層の充実を図る必要がある。	
今後の課題・方向性	3・4年生での外国語活動（年間35時間）、5・6年生での外国語科（年間70時間）の授業時間数増加に対応するため、外国語活動支援員の増員を図ること。 必要に応じて外国語活動支援員の研修を行い、小学校外国語活動及び外国語科の趣旨に沿った指導力の向上を図っていくことが必要である。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	小学校での英語教育に、英語力のある地域人材を活用する事業で、多数の外国人が住み活用できる大都市とは異なる鳥取市の状況でのこの事業の重要性は高い。単に英語が話せる人材というだけではなく、英会話の楽しさを小学生にきちんと伝えられるような人材の確保に努めて欲しい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	小学校での外国語教育は大幅な拡大が予定されており、地域の人材のみで水準を保ちつつ本事業を維持し続けることについては懸念される。教員の技能向上に向けた一層の取り組みや他の国際化推進事業との連動などを図り、本事業の負担を軽減することも期待される。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	1-3	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業費	所属名	学校教育課

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	I 学校教育の充実を図りその質を高めます!【知を開く】	
	政策	(1) 社会を生きぬく力を育む特色ある教育の推進	
	推進施策	3. 子どもたちが自己の能力と可能性を最大限に高め、様々な人々と協調・協働しつつ自己実現を図り、社会の一員としての役割と責任を果たすために必要な力を育みます。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校生徒
意図 (どのような状態にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	
	年度別実績	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,233	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,923	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	1,923					
	人件費 B	7,310	0				
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	本事業は「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間を基本とし、体験活動を行う。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	%	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
				実績	93.5				
	(指標の説明)								
	2		目標						
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	%	117%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域連携やキャリア教育の充実が図られている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地元で個々にあった体験ができており、アンケートの肯定的回答率も高い。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校・地域や生徒の実態に合った事前・事後学習および体験活動に投入している。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内全中学校、全生徒を対象にしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	この事業は、中学校でのキャリア教育の充実や「ふるさとを思い 志をもつ子」の育成を目的とし、成果を上げ続けている。
今後の課題・方向性	キャリア教育の充実を図るために、今後も継続して実施する必要がある。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	キャリア教育の目的は、自分の将来を描くためであったり、地域がいろいろなヒトの働きによって支えられていることを実感するためであったりする。学外でのこのような体験型の学習は児童生徒の成長にとって重要である。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	実施後のアンケートにより参加した生徒への事業の効果について把握しようと努められているほか、引受先の事業所と主催者とのコミュニケーションやフォローアップも図られており、適切な評価とそれに基づいた改善の努力がされている。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	2-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	未来のとりどり教育創造事業費	所属名	学校教育課

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	I 学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(2) 学校・家庭・地域の連携による教育支援	
	推進施策	1. 学級や学校の自治力を高めるとともに、各中学校区の特色を生かした保幼小中・小中一貫教育を推進し、地域にひらかれた教育の実現を目指します。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	3 指定中学校 6 指定中学校区
意 図 (どのような状態 にするために)	地域創造学校（鳥取市版コミュニティ・スクール）、ICTの活用、英語教育を推進するため
手 段 (どうするのか)	先進実践の取り組みを推進し、広く全市にその成果を還元する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	①先進校視察と研修 視察報告会の実施 ②学校運営協議会の 実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修 視察報告会の実施 ②学校運営協議会の 実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修 視察報告会の実施 ②学校運営協議会の 実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修 視察報告会の実施 ②学校運営協議会の 実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修 視察報告会の実施 ②学校運営協議会の 実施 ③授業研究会の実施	
	年度別実績	①先進校視察と研修 視察報告会の実施 ②学校運営協議会の 実施 ③授業研究会の実施					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,681	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,371	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	2,371						
人件費 B	7,310	0					
職員数の 内 訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	以下の3つの研究課題について学校を指定し、組織・教育内容・指導方法について先進的実践をすすめ、研究成果を全市に還元する。 ①保護者・地域とともに歩む魅力ある学校づくり ②子どもたちの主体的な学びをつくるICT活用 ③グローバル化に対応した英語教育
---------------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	コミュニティスクールの導入校数	校	目標	10	30	45	59	59
		実績		10					
	(指標の説明)								
	2		目標						
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	コミュニティスクールの導入校数	校	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	「社会に開かれた教育課程」を国も推進しており、目的は妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各校での取り組みを参考に、他校にも取り組みが広がっており、有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	先進的に取り組むパイロット校を指定しており、効率的である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	指定校を広く全市に募っており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	保護者や地域の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールとして運営する学校が増えている。また、ICTを活用した授業が他教科に広がったり、プログラミング教育に関する関心が高まったりしている。さらに、小学校英語の教科化を踏まえ、先行実施の取り組みが広がっている。	
今後の課題・方向性	平成29年の法改正を踏まえ、学校のコミュニティ・スクール化のさらなる推進が必要である。また、新学習指導要領の施行により、中学年で「外国語活動」を、高学年で「外国語科」を導入。また、コンピューター等を活用した学習活動（プログラミング教育）を推進していくこととなり、ますますの事業の充実が必要である。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	学校や校区を指定してやる取組とは言え、内容的に全く異なるそれぞれが関係しない3つの取組を一つの事業としてまとめて評価することに疑問を感じる。一つの事業として評価して、課題を見出し、今後の方向性を示すことの難しさを感じる。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	指定校の研究成果を全市に普及させることを事業の目的とすることからすると、成果の着眼点を研究校ではなく普及した学校数とすることは妥当と思われる。一方で、事業の性格上やむを得ないが、評価がコミュニティスクールの面に偏っていることについては留意すべきである。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	2-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	放課後児童対策事業費	所属名	学校教育課

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	1 学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(2) 学校・家庭・地域の連携による教育支援	
	推進施策	2. 保護者が子どもの教育について第一義的責任を有することを前提としながらも、放課後児童対策など様々な機会や場を通して、子どもの健全な育成を図る地域との連携・協働体制の確立を旨とします。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意 図 (どのような状態 にするために)	昼間保護者が就労等のため家にいない小学校児童を授業の終了後預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで、児童の健全育成を図る。
手 段 (どうするのか)	小学校児童を学校の余裕教室や専用施設で預かり、遊びや集団生活の場を提供する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	
	年度別実績	①放課後児童クラブの設置54クラブ ②保護者会等に委託し運営					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	415,663	0	0	0	0	
	直接経費 A	401,043	0	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	249,411				
		地方債	31,600				
		その他	3				
一般財源	120,029						
人件費 B	14,620	0					
職 員 数 の 内 訳	正規職員	2.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	全ての放課後児童クラブを委託形式とし、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、遊び及び生活の支援を行い、児童の心身ともに健全な育成を図る。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	児童クラブ設置数	箇所	目標	50	53	55	57	60
				実績	54				
	(指標の説明) 児童クラブの設置数								
	2	児童クラブ利用者数	人	目標	2321	2534	2767	3023	3303
		実績		2288					
(指標の説明) 児童クラブの入級児童数									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	児童クラブ設置数	箇所	108%				
	2	児童クラブ利用者数	人	99%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市内44校区のうち、放課後子ども教室3校区を除く41校区中39校区で児童クラブを開設しており、未設置校区の開設と共に、入級児童数の増加が見込まれる児童クラブの分割等を推進していくため、大幅な増加は見込まれず妥当である。また、利用者数は上級生入級を視野に入れており妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	昼間保護者が就労等で家にいない小学生児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで児童の健全育成に繋がっている。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	児童クラブの運営に必要な経費（報酬、管理費等）を一部委託料としてい払っており、保護者負担金も徴収することで、児童クラブ全体運営を行っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	放課後児童クラブの必要性がある校区にはすべて開設をしており、入級児童数が増加する児童クラブは適宜分割等を行っている。また、委託料の支払いは児童クラブの規模（入級児童）に応じて算定しており、公平性は保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	上級生を含めた放課後の児童預かり要望は依然多く、適切な遊び及び生活の場を与える放課後児童クラブの役割は大きい。今後入級児童の増加に伴う開設場所確保は急務であり、適宜、小学校、保護者会等と分割・拡充協議を行うことで、事業を継続していく必要がある。	
今後の課題・方向性	上級生の入級を含め、放課後児童クラブへの入級希望児童数は増加傾向にあり、既存クラブの分割等が必要となることから、開設場所の確保が急務である。今後は、未開設校区での児童クラブ開設の推進を図るとともに、入級児童が増加する既存クラブの分割・拡充に向け、小学校、保護者会と協議を行っていく。また、放課後児童クラブ支援員の確保も課題であることから、処遇改善等の取組が必要である。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	保護者が仕事で昼間家にいない小学生児童を預かり、遊びと勉強の場を与える本事業は、社会での女性の活躍を促進することや、そういった状況にある小学生児童の健全な成長の面から重要である。利用希望者が、全て利用できているかどうか、スペースやケアする人材は十分かどうかのモニタは常に必要である。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	各クラブ等の運営は個別に行われており、それぞれの活動については個々に改善の取り組みが実施されることが期待される。事業全体としては、いわゆる待機児童を最小限に抑制しつつ、対象学年の増加に伴う事業規模の拡大に対応することが出来ており、適切な資源投入が図られている。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	2-3	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画			
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業費	所属名	学校教育課	鳥取市教育センター	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	1 学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(2) 学校・家庭・地域の連携による教育支援	
	推進施策	3. 特別な支援を必要とする子どもがその能力や可能性を最大限に伸ばし、社会の中で生き生きと暮らしていくため、一人ひとりのニーズに応じた教育の実現を目指します。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学校
意 図 (どのような状態にするために)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と当該要支援児童生徒の学習活動を支援するため
手 段 (どうするのか)	特別支援教育支援員を配置する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	特別支援教育支援員配置を希望する学校52校に全てに配置する。	特別支援教育支援員配置を希望する学校56校全てに配置する。	特別支援教育支援員配置を希望する学校60校全てに配置する。 学校規模を鑑み、複数配置も考慮する。	特別支援教育支援員配置を希望する学校60校全てに配置する。 学校規模を鑑み、複数配置も考慮する。	特別支援教育支援員配置を希望する学校60校全てに配置する。 学校規模を鑑み、複数配置も考慮する。	
	年度別実績	特別支援教育支援員配置を希望する学校52校中44校に46名配置した。(そのうち2校2名複数配置)					
事 業 費	区 分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	53,535	0	0	0	0	
	直接経費 A	53,535	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	53,535					
	人件費 B	0	0				
職員数の内訳	正規職員	0.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	46.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と当該要支援児童生徒の学習活動を支援するため、発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	支援員配置校数	校	目標	52	56	59	59	59
				実績	44				
	(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置校数								
	2				目標				
実績									
(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置人数									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	支援員配置校数	校	85%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	通常学級の児童生徒の中で特別な配慮を必要とする児童生徒が増加する中、特別支援教育支援員を配置することで、早期に適切な支援をすることができる。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	44校に配置することができ、個別の学習支援が充実した。また、配置校では、児童生徒の理解が深まり、学級全体が落ち着いて学習に向かうことができた。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各学校に1人ずつの配置であるため、支援の必要な児童生徒が複数学級にいる場合、支援が十分にできない。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	特別な支援を必要とする児童生徒数が多い大規模の学校には、支援員の複数配置が必要だが、十分配置できていない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	配置希望校への配置率は、徐々に上がってきているが、十分ではない。特別な支援を必要とする児童生徒が多い大規模の学校は、複数配置が必要なため、配置については学校規模等を考慮しながら十分検討していく必要がある。	
今後の課題・方向性	学校からの要望が高く、配置の効果も大きいため、数値目標を定めながらも、可能な限り、さらに配置率を高めることが必要であり、学校規模等を考慮しながら、複数配置する等各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	平成28年度に希望校52校中44校にしか配置出来なかった原因が、予算の確保の問題にあるのか、人材不足にあるのか。もし人材不足にあるのなら、どのようにして今後、臨床心理士などの資格のある人材を確保するのか検討が必要である。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業の必要性については理解でき、また大規模校への複数人員配置や早期の対応のため対象児童の有無に関わらず希望する学校に人員を配置しようとする意図も学校現場の要請に基づくものである。一方で、こうした運用方針の下では事業規模の上限が予見できず、ニーズが漸進的に拡大して資源投入が拡大し続けるのではないかと危惧も覚える。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	3-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画
事務事業名	学校維持補修費（小学校・大規模）	所属名 教育総務課学校施設係

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	I 学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(3) 信頼される教育環境の充実	
	推進施策	1. 鳥取市だからこそできるきめ細やかな教育を推進し、将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材の育成に取り組みます。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校施設
意図 (どのような状態にするために)	機能回復及び施設の劣化防止
手段 (どうするのか)	継続的に修繕等を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	トイレ改修工事 設備改修工事 小学校空調更新	小学校空調更新 体育館部分改修工事	トイレ改修工事 プール改修工事 小学校空調更新 体育館部分改修工事 設備改修工事	トイレ改修工事 プール改修工事 小学校空調更新 体育館部分改修工事	プール改修工事 小学校空調更新 体育館部分改修工事	
	年度別実績	浜坂小学校トイレ改修工事、美保南小学校消火配管改修工事、小学校空調更新					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	75,789	0	0	0	0	
	直接経費 A	74,327	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債	69,200				
		その他					
一般財源	5,127						
人件費 B	1,462	0					
職員数の内訳	正規職員	0.20					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	浜坂小学校トイレ改修工事、美保南小学校消火配管改修工事等	
	浜坂小学校トイレ改修工事	60,837千円
	美保南小学校消火設備改修工事	6,702千円
	小学校空調設備賃借料	923千円
	委託料（実施設計・工事監理）	5,270千円
	事務費	595千円
	計	74,327千円

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	小学校改修数	校	目標	4	5	6	6	5
				実績	4				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	小学校改修数	校	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校施設の緊急度を考慮して、必要な整備を実施している。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校施設の緊急度を考慮して、必要な整備を実施している。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	年次的な整備計画を立て、急がれるものから必要な整備を実施。交付金・起債など、有利な財源確保を行っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年次的な整備計画を立て、急がれるものから必要な整備を実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	計画どおり事業進捗が図れた。
今後の課題・方向性	適切な教育環境の確保を図るため、引き続き劣化防止策を積極的に実施する必要がある。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	小学校のトイレ改修、消火設備改修、空調更新を継続的にする事業で、特にトイレの洋式化は現状を考えると必要であると考え。教育環境の維持改善のために必要な事業である。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	中長期的な計画の下で対象となる学校や補修箇所が決定されており、その際に緊急性や必要性が考慮されている。施設の整備改良の内容については実施後の改善の効果を検討した上で変化しており、近年ではトイレの改善に重点がおかれているようである。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	3-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	学校維持補修費（中学校・大規模）	所属名	教育総務課学校施設係

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	I 学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(3) 信頼される教育環境の充実	
	推進施策	1. 鳥取市だからこそできるきめ細やかな教育を推進し、将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材の育成に取り組みます。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	中学校施設
意 図 (どのような状態 にするために)	機能回復及び施設の劣化防止
手 段 (どうするのか)	継続的に修繕等を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	空調設備設置工事	体育館部分改修工事	空調設備設置工事	校舎部分改修工事	トイレ改修工事	
	年度別実績	空調設備設置工事（国府中、江山中、高草中）					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	144,876	0	0	0	0	
	直接経費 A	143,414	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債	136,200				
		その他					
	一般財源	7,214					
	人件費 B	1,462	0				
職員数の内訳	正規職員	0.20					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	空調設備設置工事（国府中、江山中、高草中）
-----------	-----------------------

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	中学校改修数	校	目標	3	1	1	1	1
				実績	3				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	中学校改修数	校	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校施設の緊急度を考慮して、必要な整備を実施している。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校施設の緊急度を考慮して、必要な整備を実施している。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	年次的な整備計画を立て、急がれるものから必要な整備を実施。交付金・起債など、有利な財源確保を行っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年次的な整備計画を立て、急がれるものから必要な整備を実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	計画どおり事業進捗が図れた。
今後の課題・方向性	適切な教育環境の確保を図るため、引き続き劣化防止策を積極的に実施する必要がある。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	中学校の空調設備設置の継続的な事業で、近年の夏の暑さを考えると必要不可欠な事業と考える。事業の着実な実施を望みたい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	中長期的な計画の下で対象となる学校や補修箇所が決定されており、その際に緊急性や必要性が考慮されている。施設の整備改良の内容については実施後の改善の効果を検討した上で変化しており、近年では空調設備の整備に重点がおかれているようである。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	3-3	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	特色ある小中9年教育支援事業費	所属名	教育総務課 校区審議室

1. 基本情報

位 基 教 置 本 育 づ 計 振 け 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	1 学校教育の充実を図りその質を高めます!【知を開く】	
	政策	(3) 信頼される教育環境の充実	
	推進施策	2. 学校と地域が一体となって校区のあり方を検討することで、地域の実情に応じた活力ある学校づくりを目指します。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	鹿野小学校及び鹿野中学校
意 図 (どのような状態 にするために)	学校教育の充実をはじめ、地域の教育力の向上及び児童生徒の健全育成を図る
手 段 (どうするのか)	鹿野地域小中一貫校推進委員会を設置、小中合同研修会の実施、先進地視察などの自発的で適切な取り組みを支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	○推進委員会の開催 ○2部会の開催 ○先進地視察 ○小中合同研修会 ○成果刊行物の作成 ○住民への情報提供	○推進委員会の開催 ○2部会の開催 ○先進地視察 ○地域の特色を生かした 小中9年間の教育課程 の創造 ○成果刊行物の作成				
	年度別実績	○推進委員会(6回) ○2部会(15回) ○先進地視察(2回) ○小中合同研修会(2回) ○成果刊行物の作成 ○住民への情報提供 ・かわら版発行(5回) ・住民説明会(2回)					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,149	0	0	0	0	
	直接経費 A	418	0	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	418				
		地方債					
		その他					
一般財源							
人件費 B	731	0					
職 員 数 の 内 訳	正規職員	0.10					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	「平成28年度特色ある小中9年教育支援事業」	
	小中合同研修会講師謝金	20 千円
	先進地視察旅費	151 千円
	印刷製本費(成果刊行物)	70 千円
	消耗品費	44 千円
	通信運搬費(郵券等)	11 千円
	使用料(バス借り上げ料)	122 千円

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	推進委員会及び各部会の開催回数	回	目標	15	15	15	15	15
				実績	21				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	推進委員会及び各部会の開催回数	回	140%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域・保護者代表と学校関係者が学校のあり方について議論することで、地域総がかりで子どもを育てていこうと、地域の教育力の向上につながっている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	小中9年を通じた「一貫教育ビジョン」、「教育目標」、「教育課程」等が創造され、平成30年4月の義務教育学校開校に向け、着実に進んでいる。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	先進地視察により、施設分離型5・4制の義務教育学校設立という先進的な取組の導入につなげている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	協議・検討した内容を成果刊行物等にまとめ、配布することで、地域住民をはじめ、全市の小中学校に情報提供している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	計画以上の会議を開催し、特色ある小中9年の教育が検討されてきており、他の地域のモデルとなる学校づくりにつながっている。
今後の課題・方向性	今後は、策定した教育ビジョンや教育目標を具現化するための、9年間の教育課程の詳細について、先進的な取組を参考にしながら検討を進めていく。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	中一ギャップや、小学校での英語教科の実施などを考慮すると、小中9年一貫教育の重要性が分かる。一環教育を実施するに当たり小学校と中学校が近くにあること、校区に小学校と中学校が1校ずつしかないことなど、条件・制約もあろうが、もし取組が機能するようであるなら、小学校の統廃合も含めて長期ビジョンにたった全体的な実施計画を作る必要がある。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	準備のための会合の開催回数が増えることが事業の目的にどのように関係しているか不明である。地域の事情を考慮した特色ある教育とされるが、市全体からすれば義務教育課程について複数の体系が分立する分散化の状況にある。学校間の交流や教員の人事に影響がないとは考えられず、地域の視点だけではなく市全体として教育課程再編の中長期的な効果や影響について客観的な評価を行うことが必要ではないか。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	3-4	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業費	所属名	学校教育課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	1 学校教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(3) 信頼される教育環境の充実	
	推進施策	3. 教職員の多忙化を解消し教育の質の向上を目ざしながら、学校運営システムを充実させ、学校事務の効率化と学校間の事務の共同化を図ります。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校全児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	小中学校におけるいじめ、不登校、暴力行為・非行といった問題行動等の諸問題に対しスクールソーシャルワーカーがコーディネーター役となり、教育と福祉に関係する諸機関と連携しながら、子どもや保護者に対して効果的な支援を行う。
手段 (どうするのか)	学校と協働し、こどもの問題の要因を改善し、こどもの教育を保障する方策を考えたり、環境を調整したりする。 学校教育課にスクールソーシャルワーカーを配置し、学校や関係機関との連絡調整を行う。 学校や関係機関と情報を共有し、支援会議等に参加して助言する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	学校教育課にスクールソーシャルワーカーを5人配置する。	学校教育課にスクールソーシャルワーカーを6人配置する。	学校教育課にスクールソーシャルワーカーを7人配置する。	学校教育課にスクールソーシャルワーカーを8人配置する。	学校教育課にスクールソーシャルワーカーを9人配置する。	
	年度別実績	スクールソーシャルワーカーを5人配置。 学校訪問回数 226 家庭へ 8 諸機関 153 ケース会議出席 85					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,240	0	0	0	0	
	直接経費 A	5,240	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,493				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	1,747						
人件費 B	0	0					
職員数の内訳	正規職員	0.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	5.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	小中学校におけるいじめ、不登校、暴力行為、非行といった問題行動等の諸問題に対しスクールソーシャルワーカーがコーディネーター役となり、教育と福祉に関係する諸機関と連携しながら、子どもや保護者に対応し、効果的な支援を行う。 具体的には、関係機関とのネットワークの構築、学校内におけるチーム体制の支援、保護者、教職員等に対する支援、相談・情報提供、要対協や支援会議等への積極的参加など。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	目標	5	6	7	8	9
		実績		5					
	(指標の説明)								
	2		目標						
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市が抱えている教育課題である「学校不適応の解消」に向けてのスクールソーシャルワーカーの役割は重要であると認識している。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	支援会議や学校訪問要請等、学校からのニーズは年々上がっている。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校からのニーズも上がっている。スクールソーシャルワーカーの増員を望む上で、資源の拡充も求められる。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全ての小中学校から報告される情報を元に、学校に出向いている。中には、継続して介入する場合もある。また、全ての児童生徒を対象としている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	<p>子どもを取り巻く環境の急激な変化が、不登校等の学校不適応問題に大きく影響している。背景には、貧困等の問題も複雑に絡み合っているケースもある。実態把握・アセスメント等を通して、未然防止にも力を入れていきたい。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの働きは、欠かすことの出来ない、学校支援である。</p>	
今後の課題・方向性	<p>国が、「スクールソーシャルワーカーを全中学校に配置する。」という考えの中、学校からのニーズも上がっている。学校からの相談事案に対して、福祉の専門的知識や経験を生かして関係機関との連携に大きく貢献している。今後、事業の積極的な拡充が必要であると考え。</p>	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	鳥取市が抱えている不登校などの学校不適応問題の解消にむけての必要な事業と考える。このようなソーシャルワーカーを配置すると言った対症療法的な方法と同時に、問題解決のためには学校不適応が何故起こるのか、根本的な原因の究明も必要であることを忘れてはならない。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	学校不適応の児童生徒数が全国的な平均を上回っていることは鳥取市において従来から課題として認識されており、様々な施策が実施されてきた。本事業もその一環であり、問題の顕著な改善がみられない段階では個々の事業の効果を評価しつつ資源の投入を増加させることは適当と考えられる。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	4-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費	所属名	教育委員会事務局学校教育課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます!【徳を啓く】	
	政策	(1) ふるさと愛を育む教育の推進	
	推進施策	2. 地域の協力を得て、子どもに、地域資源を活かした多様な体験・交流活動への参画を促しながら、達成感を味わわせ、未来に向けてたくましく生き抜く力を育てます。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小学校児童
意 図 (どのような状態 にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験を行う。
手 段 (どうするのか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙作り体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	
	年度別実績	市内25校が実施					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	20,052	0	0	0	0	
	直接経費 A	12,742	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	12,700				
		その他	0				
一般財源	42						
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	児童が佐治町の農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験となることを期待して実施。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	実施校数	校	目標	25	25	20	15	15
				実績	25				
	(指標の説明) 実施校数により、本事業の大きさを表す指標とする								
	2		目標						
		実績							
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	実施校数	校	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中山間地域での生活体験により、豊かな人間性や社会性を育むとともに、ふるさとの自然や文化の素晴らしさを実感することができた。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中山間地域での生活体験により、豊かな人間性や社会性を育むとともに、ふるさとの自然や文化の素晴らしさを実感することができただけでなく、人のあたたかさにふれることにより、児童は、ふるさとのよさを感じることができた。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	豊かな自然や文化、人のあたたかさといった地域資源を活用しているが、実施校が増え、受け入れ民泊の不足のため、大規模校は民泊を1泊しか行えないなどの課題もある。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	受け入れ民泊の不足から、大規模校は民泊1泊、たんぼり荘1泊となるため、民泊2泊の小規模校と比べると満足感に差が見られる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくために、意義があった。しかし、民泊家庭の増加が見込めないことや市マイクロバスの廃止を受け、保護者負担がかなり増大することから、来年度以降については検討を要する。	
今後の課題・方向性	新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくために、意義があった。しかし、民泊家庭の増加が見込めないことや市マイクロバスの廃止を受け、保護者負担がかなり増大することから、来年度以降については検討を要する。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	鳥取市の実情を知るこのような体験型の学習は児童生徒にとっても意味があり、また、佐治村の活性化にもつながる大切な事業と評価する。民泊の不足など問題はあがるが、事業形態を工夫しながら事業の継続を望みたい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	中心市街地の学校のみならず中山間地域の学校も対象となど、事業の目的と対象が合致しているか疑問が残る。国の財政措置が充実しているため費用対効果は良くなるが、国の財政措置ありきの事業との印象を拭えない。受益者である児童・生徒の保護者負担が増えるので縮小、というのも事業の必要性が本来はそれほど高くないことを示唆するように思われる。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	4-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	人権教育推進費（人権教育研究推進事業）	所属名	学校教育課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！【徳を啓く】	
	政策	(1) ふるさと愛を育む教育の推進	
	推進施策	3. 様々な学びや体験を通して、自分をとりまく人々への感謝や敬愛、命の大切さや善悪の判断などの豊かな心を育むとともに、人を大切にする人権教育の充実を図ります。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	指定校による実践的な研究
意 図 (どのような状態 にするために)	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する
手 段 (どうするのか)	学校における人権教育を推進する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	
	年度別実績	①文部科学省委託事業として、2校で実践的な研究を行った。					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,647	0	0	0	0	
	直接経費 A	337	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	337				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源		0					
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	県外講師を招聘して学校の実態に合わせた研究を進め、その実践成果を広く市内小中学校へも公開した。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	研究指定校数	校	目標	2	2	2	2	2
		(指標の説明)		実績	2				
	2			目標					
		(指標の説明)		実績					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	研究指定校数	校	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	県外講師を招聘して研究会を開催することで、先進的な取組や指定校の課題にあった指導方法等の改善及び充実が図られている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	指定校における実践を参観の上、県外講師の具体的な指導助言が受けられる。他校の教員についても、研究会への参加が可能である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	希望校の中から研究校を選定し、各校の実態に合った計画に沿って実施している。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	希望校の中から研究校を選定して実施しており、他校の教員についても研究会への参加が可能である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	県内外の講師を招聘した研究会に他校からも多くの教員が参加し、また、1年間の研究で得られた成果を広く共有して、人権教育の一層の充実を図ることができている。
今後の課題・方向性	1年間の研究指定事業であるが、1年間の研究で得られた成果を共有して人権教育の充実を図る。また、平成29年度以降に指定校が決まった場合は、さらなる研究の充実を図っていく。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結! 1

評価コメント	授業や学級活動の中で、ペア活動やグループ活動を通して、生徒児童が友達の話を聞くことの大切さ、他人のことを思いやることの大切さを学ぶ。1年間の研究指定事業で2校での取組があるが、この2校には一過性の取組に終わらず今後の継続を期待したい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	他者の尊重といった普遍的な視点に立った人権教育の手法が研究されており、いじめ問題や学校不適応問題への良い影響が期待される。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	5-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	市民大学開設費	所属名	生涯学習・スポーツ課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅱ 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます!【徳を啓く】	
	政策	(2) 生涯にわたり心豊かに学び育つことができる環境の充実	
	推進施策	1. 市民が自発的に、自由に学ぶことのできる多様な学習機会や情報の提供の充実を図ることで、生涯学習社会の実現を旨とします。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取地域および新市域に在住、または勤務する方を対象とする。
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	市民大学の開催	市民大学の開催	市民大学の開催	市民大学の開催	市民大学の開催	
	年度別実績	講座開催数 30回 延参加者数 693人					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,122	0	0	0	0	
	直接経費 A	198	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	198						
人件費 B	2,924	0					
職員数の内訳	正規職員	0.40					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパーク講座 年5回(前期) ・健康スポーツ講座 年5回(前期) ・国際理解講座 年5回(前期) ・社会講座 年6回(後期) ・鳥取放送文化講座 年3回(後期) ・郷土の歴史講座 年6回(後期)
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	市民大学の延べ参加者数	人	目標	700	800	900	1000	1000
		(指標の説明) 述べ参加者数		実績	693				
	2		目標						
		(指標の説明)	実績						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	市民大学の延べ参加者数	人	99%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生涯学習推進の一環として、広く市民が学習できる機会を設けるという目的において妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	幅広い世代の市民が郷土の歴史や社会問題等を自発的に学習する機会として、市が提供する事業であり有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	低コストで多様な学習機会が提供できており、参加者の満足度も高い水準を保っていることから、効率的な実施にされている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	幅広い年代を参加対象としているが、実際は年代に偏りがみられるため、改善する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	山陰海岸ジオパーク講座や国際理解講座など高齢者生きがい促進事業と重複せず、社会情勢の変化に伴う市民のニーズに対応する講座を設置している。しかし、重複している講座内容もあることから、差別化を引き続き検討していく必要がある。	
今後の課題・方向性	高齢者生きがい促進事業と重複しない内容・時間、または重層的な内容など他の事業と差別化を図りながら、より効果的の事業となるよう実施する。また、幅広い年代に開かれた学習の場として市民大学を利用してもらえよう検討していく必要がある。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	対象が鳥取市に在住する、または勤務する者となっていることから、対象者の年齢やバックグラウンドなども多様である。対象者のニーズを捉えて、多様な講座内容を揃える必要がある。尚徳大学との棲み分けも十分考えなければならない。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	指定管理者への一部事務の委託を取り入れるなど経費の節減が図られている。企画立案に担当課がより注力できる状況となったことから、受講者の偏りなど認識されている課題への対応が進み、受講者や潜在的な受講者のニーズをよりの確に把握した企画となることを期待したい。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	5-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	高齢者生きがい促進総合事業費	所属名	生涯学習・スポーツ課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅱ 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます!【徳を啓く】	
	政策	(2) 生涯にわたり心豊かに学び育つことができる環境の充実	
	推進施策	2. 市民が学んだ成果を、地域で生かしながら自己実現を図り、生きがいに満ちた暮らしができる地域づくりに貢献します。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市在住の概ね60歳以上の人
意図 (どのような状態にするために)	生きがいづくりを促進し、地域で活躍する活力ある高齢者層を創出する。
手段 (どうするのか)	多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会を充実させる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	
	年度別実績	①尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,794人 ②高齢者人材活用 事業回数 6回 延参加者数 583人					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,629	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,705	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	854				
一般財源	851						
人件費 B	2,924	0					
職員数の内訳	正規職員	0.40					
	嘱託職員	1.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 尚徳大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催講座 合同学習および8つの専門コース(書道・彫刻・絵画・民芸・文芸・社会・健康・郷土) 計126回 ・高齢者の社会参加及び受講生間の交流を促し、生きがいづくりを促進する ・地域で活躍する活力ある高齢者層を創出する <p>2 高齢者人材活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 41人 ・優れた知識、技能を有する地域人材を募り、市民の主體的な学習活動を支える講師あるいは助言者として活用する。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80	85	90	90	90
		(指標の説明) 満足度		実績	77.4				
	2	高齢者人材活用事業の市民教授登録者数	人	目標	50	51	66	81	96
		(指標の説明) 登録者数		実績	41				

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	尚徳大学受講者の満足度	%	97%				
	2	高齢者人材活用事業の市民教授登録者数	人	82%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	超高齢化社会である現状を考慮すれば、高齢者の生きがいづくりのため生涯学習を推進すること、高齢者の培われてきた能力を発揮する場を設けることは、目的として妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	尚徳大学については高齢者が郷土の歴史や社会的課題、健康等や書道・彫刻といった芸術について学習する場として市が提供する事業であり有効である。高齢者人材活用事業については地域社会における知の循環と地域社会の発展につなげるため、市民の皆様が培ってこられた知識を還元していただく場として市が提供する事業であり有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	尚徳大学については1回の講座で多くの市民が学ぶことができること、講座内容については参加者の満足度が高い水準にあることから、効率的な実施がなされているといえる。高齢者人材活用事業については、市民が教え、市民が学ぶという事業であることから、効率的であるといえる。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の経費の一部として、受講者から受講料を徴収しており、受講者負担からも公平である。また、高齢者人材活用事業については、各地域において活用状況にばらつきがあり、改善する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	尚徳大学については、現在8つのコースを設置することで市民のニーズに合致したサービスの提供を目指しており、受講者満足度も高い水準にある。高齢者人材活用事業は、年々減少している講師登録者の募集の強化や市民教授活用の広報強化等について検討しながら、継続実施する。
今後の課題・方向性	尚徳大学は、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを今後検討していきたい。更なる受講者の満足度の向上につなげていきたい。高齢者人材活用事業は講師登録者募集の強化や市民教授の活用を各地域で推進するための広報の強化について検討していく。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	高齢者の人材活用事業においては、登録者数の増加だけでなく、活用の促進が必要である。そのためには、活用状況を把握すること、登録者の内容を検討し、多様な登録者を揃えることも必要であろう。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	尚徳大学については高齢化に伴い増加する需要に対応が難しくなっている面がみられる一方で、受講者による運営への参加など経費の節減にも有効な取り組みが行われている。高齢者人材活用事業については、初期段階としては登録者数を指標とすることも理解できるが、制度確立後は登録した人材により実施される講座等の事業の実施数や参加者数を対象とする方が事業効果をより直接的に把握できるのではないかと。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	5-3	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	子育て講座開設費	所属名	生涯学習・スポーツ課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅱ 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます!【徳を啓く】	
	政策	(2) 生涯にわたり心豊かに学び育つことができる環境の充実	
	推進施策	3. 地域の大人や子どもの保護者に自らの役割と責任の自覚を促し、人としての大切な生き方を共有して、子どもとともに“学び”“育つ”ことができる地域社会の形成につなげます。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校・幼稚園等の保護者
意図 (どのような状態にするために)	家庭の教育力の向上を図るため
手段 (どうするのか)	家庭教育に関する学習機会を提供する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	
	年度別実績	①子育て・親育ち講座 開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 8園					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,440	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,247	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,494				
		地方債					
		その他					
一般財源	753						
人件費 B	2,193	0					
職員数の内訳	正規職員	0.30					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 国の補助事業「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」を受けて実施する。(補助率：国1/3 県1/3 市1/3) 市内の小学校・幼稚園等での「子育て・親育ち講座」を家庭教育支援チームが企画・調整し開設する。[例] 新小学1年生(入学前)のための子育て講座、就学時検診等を活用した子育て親育ち講座、幼児期の子育て親育ち講座] 講座内容としては、基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、善悪の判断など基本的倫理観、社会的マナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で必要な事項を取り上げて、保護者の家庭での教育力向上を図る。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	子育て・親育ち講座開催数	回	目標	50	50	51	52	53
				実績	52				
	(指標の説明) 講座開催数								
	2		目標						
		実績							
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	子育て・親育ち講座開催数	回	104%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	家庭教育は全ての教育の出発点であり、家庭に教育の基盤をしっかりと築くことがあらゆる教育の基盤として重要であることから、目的として妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	全44小学校で開催されており、保護者アンケートからも家庭の教育力向上に資する事業となっている。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業運営に支障をきたさないよう地域の人材を活用した必要最小限の人員体制をとっており、その効果も家庭の教育力向上につながっている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全44小学校で開催されており、新1年生をもつ全保護者を対象に講座を開催しているため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	より内容を充実したものになるよう見直しながら、今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図る。保護者同士のつながりを生み、子育てに関する親の孤立を防止する取組を推進する。
今後の課題・方向性	今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図るとともに、県などの他機関と連携を図りながら、保護者同士のつながりを深めるなどして、親の孤立を防止する取組を推進する。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	家庭環境が子どもの将来を決める。その意味から保護者に対する「子育て講座」は重要である。座学だけではなく、ワークショップを導入したことで、様々な保護者に対して子育てにおける家庭環境の大切さをより理解させられることを期待したい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業の実施回数は制度的に確保されている状況が伺える。講座の質的改善のために受講者へのアンケートが実施され、講師らにフィードバックが行われているとのことであるが、そうした受講者からみた事業の効果については事業評価においても活用することが望ましい。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	6-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	史跡等保護・整備事業（青谷上寺地遺跡）	所属名	教育委員会事務局	文化財課

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	II 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！【徳を啓く】	
	政策	(3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生	
	推進施策	1. 文化芸術の振興や文化財への愛護精神の高揚を図ります。さらに、文化財の保護と活用を進めること によって次世代へ継承します。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意 図 (どのような状態 にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在、約14万6,133㎡の広さがあり、範囲内には市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有化を進めている。また、平成22年3月には県と共同で「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」を策定し、将来的な復元建物等の整備を構想しているが、それまでの間は、環境保持と情報発信を進める。
手 段 (どうするのか)	史跡地内の市有地及び県有地についてはそれぞれが除草・水路管理等を実施するものとし、史跡青谷上寺地遺跡等の情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動を行い、全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指すものとする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会 の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会 の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会 の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会 の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会 の開催・事業実施	
	年度別実績	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会 の開催・事業実施					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,856	0	0	0	0	
	直接経費 A	3,932	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	3,932						
人件費 B	2,924	0					
職 員 数 の 内 訳	正規職員	0.40					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	<p>1 事業の概要 青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土した弥生時代の貴重な遺跡であり、平成20年3月に国史跡に指定された。また、平成22年8月、23年9月、25年10月に追加指定を受けた。遺跡範囲内の公有化により青谷上寺地遺跡公園とし、遺跡保護と景観の管理を行った。また、史跡の保存活用事業の推進のため、鳥取県・鳥取市・関係団体等で組織する「青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会」により、地域及び青谷上寺地遺跡展示館等と連携し遺跡を活用した取り組みを行った。</p> <p>2 事業の成果 青谷上寺地遺跡公園及び道路、水路周辺などの除草作業を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行った。また、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で、古代米栽培体験・田んぼアート・キャラクター募集等の発信事業を行った。</p>
---------------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	4	4	4	4	4
				実績	4				
	(指標の説明)								
	2			目標					
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	国史跡青谷上寺地遺跡の保存・保護のための維持管理及び青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会による地域活性化事業を行った。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	史跡内の市有地についての除草作業を5月、7月、9月及び3月で計8回行い、周辺民家や田への悪影響を防止することができた。きめ細やかに実施したため回数が増加した。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	除草等作業を地元業者に委託して、効果的かつ効率的な維持管理を行うことができた。また、協議会事務局は県と共同して運営しており、県内外への発信が図れた。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	史跡内の市有地については、主にイベント広場・体験広場として活用できる史跡整備が構想されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
担当課等の評価コメント	現在、史跡そのものは未整備だが、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で古代米栽培や田んぼアート等の青谷上寺地遺跡を活用した事業は、年々充実してきている。また、鳥取県と共同して史跡地内の環境保持と公有化を進めている。平成28年度より、鳥取県と共同で史跡整備の設計に着手しており、数年後には実際の整備工事に着手できるものと考えている。	
今後の課題・方向性	当面は現状の環境整備・維持管理と保存・活用に努める。県と協調して整備の基本設計に取り組み、将来的には長期的な保存・活用を見据えた整備を実施する。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	現在は除草作業が中心で、完全な公有地化を待って、本格的な活動はそれ以降となる。まずは出来るだけ早期の公有地化の達成を期待したい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	現状、史跡の整備は着手されておらず、対象地域の管理や啓発イベントが中心となっている状況は理解されるが、予定された除草を予定通り実施したことが事業評価の指標として適切であるか、疑問である。現状では事業規模も小さく、このような形式的に整った事業評価は現段階では必ずしも必要ないのではないかと。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	6-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	美歎水源地保存整備事業	所属名	文化財課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅱ 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます!【徳を啓く】	
	政策	(3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生	
	推進施策	2. 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重要文化財旧美歎水源地水道施設
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	建造物の保存修理と活用のための環境整備を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	・修理工事 ・整備工事 ・特別公開の実施	・修理工事 ・整備工事 ・特別公開の実施	・整備工事 ・完成記念式典の開催 ・一般公開・管理活用の開始	・全国近代化遺産活用協議会大会の開催 ・一般公開 ・管理活用	・一般公開 ・管理活用	
	年度別実績	・修理工事 ・整備工事 ・特別公開の実施					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	123,888	0	0	0	0	
	直接経費 A	118,771	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	76,321				
		地方債					
		その他					
一般財源	42,450						
人件費 B	5,117	0					
職員数の内訳	正規職員	0.70					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要</p> <p>旧美歎水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設で、かつての上水道施設のありようを伝える貴重な近代化遺産として、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。これを受け「旧美歎水源地水道施設保存整備基本計画」を策定、この計画に基づき、平成20年度から長期的視点に立った保存整備を行っている。</p> <p>この事業の実施により、旧美歎水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として将来にわたって伝えていく。</p> <p>2 事業の成果</p> <p>平成28年度は</p> <p>(1) 国庫補助事業により、建造物保存修復工事・活用整備工事を実施(～29年度)</p> <p>(2) 利活用事業として特別公開を実施</p>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	美敷水源地の見学者数	人	目標	300	250	1000	4000	3500
				実績	350				
	(指標の説明) 冬期閉鎖期間(12月～2月)があり、年あたり公開月数は実質9ヶ月								
	2	美敷水源地の修理工事の進捗率	%	目標	80	90	100	-	-
実績				80					
(指標の説明) 工事は平成30年度終了。30年度は10月オープン予定。									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	美敷水源地の見学者数	人	117%				
	2	美敷水源地の修理工事の進捗率	%	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	国指定の重要文化財であり、所有者として市が主体的に整備・保存し、市民の活用には必要がある。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	システム全体が残る水道施設として全国的にも貴重な文化財だが、経年劣化が見られ、活用のためには保存修理の実施が不可欠である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他に類例のない文化財建造物の修理事業であり、文化庁・国内の専門家の協力のもと、効率的に事業は進んでいる。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全国的に価値のある文化財として、整備・活用の効果は広範囲にわたる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	平成30年度10月オープンをめざして修理工事と活用整備を進め、円滑な事業の進捗を図る。公開後は適正な公開活用を図る。
今後の課題・方向性	保存整備基本計画に基づき、着実に事業を推進し、平成30年10月にオープンさせる(補助金は国1/2、県1/6)。公開後の管理を地元中心で行うための組織を確立し、効率的な情報発信・活用の推進を図る。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	他にない文化財建造物であるなら、他の文化財建造物との差別化をはかることと、うまく宣伝すること、現地へのアクセスの方法を工夫することで、見学者数の増加に取り組んで欲しい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	施設整備の進捗に併せて、整備後の活用に向けた地域と連携したソフト面の施策が開始されている。指標等には現れないが、事業の目的と段階を踏まえた施策の展開が図られていることは評価できる。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	7-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画
事務事業名	図書館情報管理システム処理費	所属名 中央図書館

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ	郷土愛を醸成し豊かな心を育みます!【徳を啓く】
	政策	(4)	魅力ある読書環境づくりの推進
	推進施策	1.	年齢や障がい等に関わらず、すべての市民が読書を通して、豊かな心や夢を育み、人づくりや地域づくりを推進します。

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	図書館3館、コミュニティセンター図書室6室及び市立病院の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意 図 (どのような状態にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。
手 段 (どうするのか)	平成24年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者へ貸出せるようにする。また、中央図書館においては、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		図書館コンピュータシステムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	図書館コンピュータシステムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成31年2月に図書館コンピュータシステムの更新。	図書館コンピュータシステムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	図書館コンピュータシステムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	図書館コンピュータシステムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。
年度別実績	コンピュータシステムにより、図書館3館、図書室6室及び市立病院図書室を一体的な管理、運用を行った。メンテナンスの範囲でバージョンアップを行い、コンビニ受取サービスの機能の追加、読書記録を提供するなどサービスの向上を図った。						
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	32,707	0	0	0	0	
	直接経費 A	29,052	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	65				
一般財源	28,987						
人件費 B	3,655	0					
職員数の内訳	正規職員	0.50					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	【事業の概要】	図書館3館、コミュニティセンター図書室6室、市立病院図書室を一体的に管理するため、図書館情報管理システムを運用した。これにより、図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民等に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図った。		
	【事業の成果】	26年度	27年度	28年度
	蔵書冊数	623,816冊	640,534冊	656,730冊
	利用者登録数	59,851人	62,856人	65,663人
	個人貸出	886,468冊	889,184冊	839,356冊
	団体貸出	99,067冊	99,067冊	96,017冊
	予約受付	136,548件	148,042件	149,521件
	中央図書館入館者数	404,819人	394,674人	370,482人
	決算額	29,052千円	28,963千円	28,790千円

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	セルフ利用率の拡大	%	目標	45	47	49	51	53
				実績	46				
	(指標の説明) 情報管理システム処理件数(貸出返却セルフ利用冊数/総貸出返却処理冊数)								
	2	個人貸出冊数	冊	目標	890,000	891,000	892,000	893,000	894,000
実績				839,356					
(指標の説明) 図書館情報管理システムによる本の個人貸出冊数									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	セルフ利用率の拡大	%	102%				
	2	個人貸出冊数	冊	94%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	図書館情報管理システムは、多くの利用者の個人情報をも有し、適正に管理しなければならない。また、地域図書館、各図書館との一体的な運用を行うことにより、地域間格差の解消を図っている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	図書館情報管理システムは図書館の管理運営に欠かせないものであり、資料管理、利用者管理等効率化が図られているとともに、利用者がインターネット上で資料を予約できるなど、利便性が高い。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	資料の登録管理、利用者の情報管理、貸出等の利用管理など効率化が図られており、費用対効果は高い。保守料の範囲でバージョンアップを行う契約であり、常に改善しながら最新の環境で運用している。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	図書館情報管理システムと併せて搬送網を構築しており、市内のどの図書館、図書室からでも同様のサービスを受けることができ、地域間格差の解消につながっているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	図書館情報システムは常に進化しており、利用者にも利便性が高い。保守の範囲でバージョンアップを行い、一層の利便性の向上や、効率化を図ることで相談業務の時間を創出し、利用者とのコミュニケーションの充実を図る。	
今後の課題・方向性	保守の範囲でバージョンアップを行い、一層の利便性の向上や、効率化を図ることで相談業務の時間を創出し、利用者とのコミュニケーションの充実を図る。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	自動貸出、自動返却のシステムの導入によって、利用者の利便性が向上しているなら、28年度の個人貸出冊数が27年度に比べて5万冊ほど減っているのは何故か？原因の解明が必要である。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	図書館情報管理システムの機能や利用範囲が拡大しており、「セルフ利用率」「貸出冊数」で評価し得る範囲を超えつつある。システムの改善が利用者にとってのサービスの改善にどのようなつながるかという視点は維持されており、事業評価は適切に実施されていると思われる。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	7-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画
事務事業名	地域社会教育活動総合事業費	所属名 中央図書館

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅱ	郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！【徳を啓く】
	政策	(4)	魅力ある読書環境づくりの推進
	推進施策	2.	本と人、人と人との様々な出会いの場をつくり、市民が集いにぎわい、つながり合う交流を促進し、更なる地域文化の創造を支援します。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態にするために)	市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、おはなし会等の事業の実施をすとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進するとともに、高齢者向けの講座「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進するとともに、高齢者向けの講座「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進するとともに、高齢者向けの講座「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進するとともに、高齢者向けの講座「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進するとともに、高齢者向けの講座「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	
	年度別実績	・おはなし会、おやこを対象にした講座の実施 ・ブックスタート事業支援・読み聞かせボランティア養成講座の実施・音読教室一般向け講座の実施・まちライブラリーの設置。					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,061	0	0	0	0	
	直接経費 A	751	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	751						
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	2.00					
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	【事業の概要】 読書活動推進のための事業を実施 1 各図書館で毎週「おはなし会」の実施 2 読み聞かせボランティア養成講座の実施 3 文字・活字の日記念講演会の開催 4 まちライブラリー（鳥取駅構内、中央図書館内）の設置
	【事業の成果】 1 読み聞かせボランティア養成講座の実施により、講座に7割以上参加した人の内、8割以上の人の実践につながった。 2 おはなし会に妊婦やその家族の参加も推奨するなど、子育て支援を行った。 3 まちライブラリーを設置し、様々な場所に本がある空間が増え、本で人がつながるしくみの普及に努めた。

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	おはなし会、各種講座への参加者数	人	目標	4,982	5,007	5,032	5,057	5,082	
				実績	5,400					
	(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数									
	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	65	65.5	66	67	67	
実績				84						
(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	おはなし会、各種講座への参加者数	人	108%				
	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	129%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生涯学習施設として、幼児から高齢者の知識や教養の習得を支援し、特に幼いころからの読書習慣を身につけるよう子どもの読書活動の推進図り、もって、地域文化の発展に寄与する使命があるため。
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実績として、事業の参加者が遡増しているとともに、読み聞かせボランティア研修講座の受講生が実践に結びついている。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しているとともに、地元の人材(ボランティア)や職員を講師等として活用しているため。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開しており、広報についても市報をはじめケーブルテレビなども活用し、広く周知するよう取り組んでいる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	子どもの読書活動を一層推進するためには、本が身近にある環境を手助けする人がいることが重要。ボランティア養成などの事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れながら必要な事業を企画していく。	
今後の課題・方向性	幼いころから読書習慣を身につけるとともに、課題解決を必要とする市民の利用をいかに促進するかが課題。事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れながら必要な事業を企画していく。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	子どもの頃に読書の習慣をつけさせることは、子どもの精神的な成長のためにも必要である。そのためには、周囲に本があり、周囲の大人も本に親しんでいるような環境づくりが大事で、事業を改善しつつ進めて頂きたい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	指標として採用されている事業以外にも多様な事業が実施されている。個別の事業の実態についても定期的に評価が行われることを期待したい。中核となる事業については事業の目的を反映した指標が設定されており、評価のプロセスは適切に実施されている。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	7-3	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	学校図書館活用推進事業費	所属名	学校教育課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	II 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます!【徳を啓く】	
	政策	(4) 魅力ある読書環境づくりの推進	
	推進施策	3. 学校・家庭・地域・図書館の連携を図りながら、子どもの読書活動を推進し、家庭・地域の教育力の向上を図ります。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	学校司書
意図 (どのような状態にするために)	図書館利用に供する業務、資料収集、児童生徒への適切な指導を行うため
手段 (どうするのか)	研修等を実施し、学校図書館の機能を高め児童生徒の教育力向上を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	60人	60人	52人	52人	52人	
	年度別実績	60人					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	106,003	0	0	0	0	
	直接経費 A	106,003	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源		106,003					
人件費 B	0	0					
職員数の内訳	正規職員	0.00					
	嘱託職員	60.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>下記業務を行うため、学校図書館司書を配置する。</p> <p>① 図書館資料の収集や児童生徒及び教員の利用に供する業務、及び児童生徒の読書指導や総合的な学習の時間・各教科の学習に活用する図書の照会相談業務</p> <p>② 朝の読書や読み聞かせ、さらに他の学校図書館、県市立図書館との連携業務</p> <p>③ 要望がある学校について、学校図書館を土曜日に開放するための業務</p> <p>④ 充実した図書館経営を行うための研修への参加事業概要</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	学校司書の配置人数	人	目標	60	60	52	52	52
				実績	60				
	(指標の説明)								
	2		目標						
		実績							
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	学校司書の配置人数	人	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	目的が明確であり妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各校で、それぞれの取り組みができており、有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各校に配置することにより、特色のある取り組みができ効率的である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各校に配置ができており、対象として公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	各学校1名配置を基本としていたが、今後は学校規模も考慮し、適正な配置を検討していく必要がある。
今後の課題・方向性	今後は、児童生徒数を考慮しながら、適切な配置を検討していく。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	学校の図書館をより活用するために、学校図書館司書を配置し、読み聞かせ、土曜日の図書館開放などを行う事業で、図書館の機能を向上させて児童生徒に読書の習慣をきちんとつけるための必要な事業である。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	今後の方向性として、学校司書の複数校兼務化が打ち出されている。事業の効果が高く評価されているにもかかわらず資源投入を減少させることについては事業評価が活用されているとは言い難く、忸怩たるものがある。対象となる学校では司書が不在の場面が増えることが予想されるが、資源の投入減による事業効果の低下を最小限にとどめるよう事業手法や制度運用の改善が図られることを期待したい。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	8-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	給食調理委託費	所属名	学校保健給食課

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】	
	政策	(1) 子どもの健全な食生活の推進	
	推進施策	1. 栄養バランスのとれたおいしい給食を提供するとともに、地元食材を活用した献立を作成するなど、地産地消を推進し、子どもの心身の健康の保持増進を図ります。	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	学校給食調理等業務
意図 (どのような状態 にするために)	安全を確保しながら効率的に実施
手段 (どうするのか)	プロポーザル審査により優秀な民間事業者へ委託

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	[プロポーザル] 8学校給食センター	[プロポーザル] 8学校給食センター	[プロポーザル] 8学校給食センター	[プロポーザル] 8学校給食センター	[プロポーザル] 8学校給食センター	
	年度別実績	[プロポーザル] 8学校給食センター					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	423,491	0	0	0	0	
	直接経費 A	421,298	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	3,564				
一般財源	417,734						
人件費 B	2,193	0					
職員数の内訳	正規職員	0.30					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>学校給食センターの調理業務を業者委託により、継続的かつ安定的に実施する。</p> <p>①物資調達業務〔随意契約〕(公財)鳥取市学校給食会</p> <p>②湖東学校給食センター〔債務負担行為：H26～30〕(株)メフォス</p> <p>③国府学校給食センター〔債務負担行為：H26～30〕(株)メフォス</p> <p>④第二学校給食センター〔債務負担行為：H27～32〕(公財)鳥取市学校給食会</p> <p>⑤気高・鹿野・青谷学校給食センター〔債務負担行為：H27～32〕(公財)鳥取市学校給食会</p> <p>⑥第一学校給食センター〔債務負担行為：H28～32〕(公財)鳥取市学校給食会</p> <p>⑦河原学校給食センター〔債務負担行為：H28～32〕(公財)鳥取市学校給食会</p> <p>⑧国府学校給食センター県立学校調理業務追加分〔随意契約：H26～(単年契約)〕(株)メフォス</p>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	調理業務委託実施数	回	目標	8	8	8	8	8
				実績	8				
	(指標の説明)								
	2		目標						
		実績							
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	調理業務委託実施数	回	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	効率的で継続的かつ安定した給食を提供できる。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	民間業者に委託することにより、民間業者の優れた部分を取り入れられる。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	民間委託することにより、給食の充実と経費削減効果が得られた。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	プロポーザル審査により、優秀な民間業者に調理委託することにより、よりよい給食の提供に資する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	常に安全・安心な学校給食の提供を心がけ、民間業者の業務実施状況を検証しつつ、継続的に実施する。
今後の課題・方向性	現在の外部委託において、業務実施状況等の検証・評価を行いながら、業務運営の適正管理に努める。さらに鳥取市公共施設再配置基本計画、鳥取市学校給食基本構想の見直しを踏まえ、次期調理業務委託の更新について検討する。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	子どもの確実な成長のために食事は大切である。安心安全な学校給食の提供という点だけでなく、地産地消、栄養、おいしさ、見た目の良さの点も十分に考慮して進めて頂きたい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業の目標に対する現状の評価を行う上で、予定通り委託対象施設を民間の業者に委託したことをもって評価の指標とすることについては違和感を拭えない。「安全を確保しながら効率的に実施」されているか否かを委託元である教委が適切に把握し、委託先の事業者を含めた改善へ向けたサイクルを構築することを期待したい。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	8-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	学校給食未納対策費	所属名	学校保健給食課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます!【体を拓く】	
	政策	(1) 子どもの健全な食生活の推進	
	推進施策	1. 栄養バランスのとれたおいしい給食を提供するとともに、地元食材を活用した献立を作成するなど、地産地消を推進し、子どもの心身の健康の保持増進を図ります。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	学校給食未納者
意 図 (どのような状態 にするために)	未納者の解消と学校給食会計の適切な運営
手 段 (どうするのか)	補助金交付による各給食センターの円滑運営 主に支払い督促申立て・差押命令申立て等法的措置等

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	継続分を含めた 法的措置 5件					
	年度別実績	法的措置 なし					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,309	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,116	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	533				
一般財源	1,583						
人件費 B	2,193	0					
職 員 数 の 内 訳	正規職員	0.30					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	学校給食費の未納対策については、学校給食費未納対策マニュアルを作成し、段階に応じた未納対策を行っている。最終的に学校給食費に未納の生じた学校給食センターには、学校給食センター未納補てん補助金を交付することにより、学校給食会計の円滑な運営を図っている。
---------------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	学校給食費の納付率	%	目標	98.50	98.50	99.00	99.00	99.00
				実績	98.06				
	(指標の説明)								
	2		目標						
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	学校給食費の納付率	%	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校給食会計の円滑な運営のため未納対策は必要である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校給食会計の円滑な運営のため未納対策は必要である。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	どうしても徴収できない未納金のため補てん補助金を交付している。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	保護者負担の観点から公平性が求められる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	学校給食費未納額及び未納者を増加させないため、効果的な実施方法を検証しながら継続的に実施する。
今後の課題・方向性	学校及び徴収担当課とも連携を図りながら、文書督促や家庭訪問等を行う。 平成30年度に予定している学校給食費の公会計化を見据え、実施していく必要がある。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	保護者の負担の公平性を担保するためには、学校給食を無償化するか、学校給食を止めて弁当にするしかないのが、現状では仕方のない措置と考える。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	費用負担の公平性の観点から必要な施策と思われ、また評価に用いる活動指標を納付率としたことは妥当と考えられる。経済的に困難な層に対しては別途減免措置があるとのことであり、低所得者層への配慮はとられている。未納発生後の本施策に加え、意図せざる未納を防止するうえで児童手当からの天引きに対する理解が広がることを期待したい。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	8-3	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	学校給食食物アレルギー対策事業	所属名	学校保健給食課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます!【体を拓く】	
	政策	(1) 子どもの健全な食生活の推進	
	推進施策	2. 学校給食施設・設備の充実や、食物アレルギー対応を推進し、安全で安心な学校給食の提供を図ります。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	食物アレルギーのある児童生徒に対する対応を実施する。
意 図 (どのような状態 にするために)	アレルギーに対する知識を深め、アレルギー対応に必要な調理業務を実施する。
手 段 (どうするのか)	アレルギーに関する講演会の開催、アレルギー対応が必要な児童生徒の調査、対応に必要な調理業務の委託などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 講演会の実施	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	
	年度別実績	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 講演会の実施					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,353	0	0	0	0	
	直接経費 A	160	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	160						
人件費 B	2,193	0					
職員数の内訳	正規職員	0.30					
	嘱託職員						
	臨時職員						

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	アレルギーに関する講演会の開催 アレルギー対応が必要な児童生徒の調査を実施 アレルギー対応給食の調理業務を委託
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 (指標の説明)	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100				
	2	(指標の説明)		目標					
				実績					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	%	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	全ての児童生徒が給食時間を安全に、かつ、楽しんで過ごせるようにする。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	食物アレルギーのある児童生徒にアレルギー対応給食を提供する。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	食物アレルギーのある児童生徒に対応した給食を提供することと併せて、アレルギーに対する知識を深める。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	食物アレルギーのある児童生徒に対応した給食を提供することで、全ての児童生徒が安全に給食時間を過ごすことができる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	概ね予定通り完了した。 今後は、検討委員会等を実施し詳細を見直す等の取り組みが必要と考える。
今後の課題・方向性	アレルギー対応給食の実施上の諸課題について整理・検討を図る。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	食物アレルギーのある児童生徒のためには必要な措置である。間違いのないよう十分に配慮して実施して頂きたい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	アレルギーの懸念のある食材は多数あり、すべてに対応するには大きな費用が必要と思われるが、現状は費用対効果を考慮して対象の食材が決定されている。一定の範囲の食材に対して、事前の登録のある児童・生徒を対象に実施しているものであり、活動指標が100%を下回ることはそもそも限定的と思われる。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	9-1	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	子どものこころづくり支援「夢の教室」事業費	所属名	生涯学習・スポーツ課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます!【体を拓く】	
	政策	(2) すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興	
	推進施策	1. 幼児期からの運動やスポーツに親しむ機会を充実し、子どもの体力向上を図りながら、豊かな心と健やかな体を育みます。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小学校5年生、中学校2年生
意 図 (どのような状態 にするために)	夢を持つことや仲間の大切さ、挫折を乗り越える力などを身につけるため。
手 段 (どうするのか)	スポーツや芸術、文化などの分野における著名人を招き、夢の大切さを学ぶ授業「夢の教室」を展開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	22クラス	22クラス	22クラス	22クラス	22クラス	
	年度別実績	小学校10校17クラス 中学校4校5クラス					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,131	0	0	0	0	
	直接経費 A	3,400	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	3,400				
一般財源							
人件費 B	731	0					
職 員 数 の 内 訳	正規職員	0.10					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	<p>【概要】 スポーツや文化、芸術の分野で日本のトップレベルを極めた著名人等を「夢先生」として迎え、小学5年生と中学2年生を対象に「夢の教室」を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前半「ゲームの時間」では、体育館で体を動かしながら「目的のために協力すること」、「相手を思いやること」の大切さに気付いてもらう。 後半「トークの時間」では、教室で「夢先生」の体験談をもとに夢について語りかけ、目標に向かって努力することの大切さを教えるほか、子どもたちに自分の夢について考えてもらう。 <p>【成果】 仲間と協力することや目標を持って行動することの大切さを学ぶ貴重な事業で、希望校も年々増加している。</p> <p>【事業実績】 小学校10校(17クラス)、中学校4校(5クラス)で実施。</p>
---------------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	子どものこころづくり実施クラス数	クラス	目標	22	22	22	22	22
				実績	22				
	(指標の説明) 実施クラス数								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	子どものこころづくり実施クラス数	クラス	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもたちが夢や目標を持ちにくくなった現代において、夢の大切さや努力をすることの大切さを伝える取り組みは重要である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	子どもたちを対象としたアンケートの回答が事前事後で明確に変化しており、事業効果が顕著である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	夢先生やアシスタントディレクターの交通費、宿泊費、諸経費で事業展開しており、少額の経費で国内トップアスリートの人材登用が実現している。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	開催希望校からの申請書を審査し、事業目的の理解度や今後の授業に発展的に取り組もうとする意欲的な学校で開催している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	子ども達が夢の大切さや仲間と協力することの大切さを学ぶ有意義な事業である。	
今後の課題・方向性	今後、継続的に事業の拡大を図りながら実施する。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	教員と児童生徒という狭い関係の中での教育には限界がある。外部からスポーツなどの分野の有名人を呼び、一緒に活動したり、話しを聞いたりすることで、児童生徒の考え方に刺激を与えることが期待できる。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	日本サッカー協会の支援による事業であり、講師の派遣、経費等多大な支援を得て実現しており、市教委の経済的な負担は抑制されている。アンケート等により実施前後の効果の測定が行われているが、事業の目的からみると、長期的な視点からの評価も行われることが望ましい。
--------	--

自己点検・評価シート

整理No.	9-2	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	市民体育祭開催費	所属名	生涯学習・スポーツ課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称	
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます!【体を拓く】		
	政策	(2) すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興		
	推進施策	3. 年齢や障がい等に関わらず、すべての市民がいつでもスポーツに親しめるよう、各地域や各種団体のスポーツ推進人材を育成し、市民が主体的に活動できる環境の整備を図ります。		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内在住の全社会人
意図 (どのような状態にするために)	地域のつながりや一体感の醸成、活力のあるまちづくりに向けた市民総スポーツ運動の推進によって生涯スポーツの普及促進を図る。
手段 (どうするのか)	市内44の小学校区ごとにチームを組織し、対抗戦による種目別競技会を開催する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	・市民体育祭の開催	・市民体育祭の開催	・市民体育祭の開催	・市民体育祭の開催	・市民体育祭の開催	
	年度別実績	・市民体育祭の開催 参加者数 延べ23,480人 ・種目別参加チーム 延べ463チーム					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,362	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,052	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	2,052						
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1. 事業の概要 鳥取市民体育祭は、昭和33年に市制70周年記念事業として始まった。毎年4月中旬の予選から、10月中旬まで約6ヶ月間にわたって44の小学校区ごとに約19種目(オープン競技含む)の競技を行い、得点を競い合うもので、選手・役員・応援などに延べ約25,000人の市民が参加する全国でもあまり例を見ない本市最大のスポーツ行事である。</p> <p>2. 事業の効果 鳥取市の掲げる市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより、小学校区対抗とすることで、地域の一体感の醸成、他地域との交流の場として寄与している。</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	市民体育祭参加人数	人	目標	25000	25000	25000	25000	25000
				実績	23480				
	(指標の説明) 市民体育祭に参加する人数								
	2	各校区の延べ参加種目チーム数	種目	目標	528	528	528	528	528
実績				463					
(指標の説明) 各校区の参加種目の合計(全校区が全種目に参加した場合、660種目の8割)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	市民体育祭参加人数	人	94%				
	2	各校区の延べ参加種目チーム数	種目	88%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民総スポーツ運動の中核事業として、毎年多くの市民に参加いただいている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生涯スポーツの推進や、世代間・地域間交流に有効であり、活力のあるまちづくりに寄与している。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各種目協会等への委託により、円滑な運営体制が整っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市全域の校区を対象に開催しており、公平といえる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	市民総スポーツ運動の中核となっている事業であり、生涯スポーツや市民交流の推進の場となっている。
今後の課題・方向性	参加者のニーズに合わせ、競技の実施方法等に改善を加えながら継続実施していく。開催種目等に関しては、地域体育会等の意見を反映し、より多くの校区・市民が参加できるように随時見直しを行う。また、競技への参加者だけでなく「見る」、「支える」人々の増加にも努めていく。

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	競技者、参加者の高齢化がある。競技者、参加者の実態を調査して、より多くの人が参加出来る日程の組み方、競技方法などを工夫することが必要である。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	参加者の世代交代に課題が指摘されており、地域における世代間交流といった面での事業効果については転換点にあるものと思われる。義務的な側面が過度に強まることなく、市民スポーツの普及の役割を果たし続けることが期待される。
--------	---

自己点検・評価シート

整理No.	9-3	平成28年度 鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	体育施設管理費	所属名	生涯学習・スポーツ課	

1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】	
	政策	(2) すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興	
	推進施策	3. 年齢や障がい等に関わらず、すべての市民がいつでもスポーツに親しめるよう、各地域や各種団体のスポーツ推進人材を育成し、市民が主体的に活動できる環境の整備を図ります。	

2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	市民全般
意 図 (どのような状態 にするために)	市民サービスの向上を図る
手 段 (どうするのか)	民間の活力を利用した管理運営の導入

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内 容	年度別計画	指定管理者制度導入による施設管理運営	指定管理者制度導入による施設管理運営	指定管理者制度導入による施設管理運営	指定管理者制度導入による施設管理運営	指定管理者制度導入による施設管理運営	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館 ・市民プール ・千代テニス場 ・城北テニス場 ・鳥取市武道館 ・鳥取市営サッカー場 ・鳥取市B&G海洋センター ・若葉台スポーツセンター ・鳥取市弓道場 					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	149,962	0	0	0	0	
	直接経費 A	138,997	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	565				
一般財源	138,432						
人件費 B	10,965	0					
職員数の内訳	正規職員	1.50					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

4. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	市民体育館、市民プール、千代テニス場、城北テニス場、鳥取市武道館、鳥取市営サッカー場バードスタジアム、鳥取市B&G海洋センター、若葉台スポーツセンター、弓道場を指定管理施設として、民間の活力を利用した管理運営を行い市民サービスの向上を図る。 指定管理者制度開始年度：平成18年度
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	指定管理者制度導入施設	施設	目標	9	9	9	9	7
				実績	9				
	(指標の説明) 鳥取地域において市内、県内外に幅広く利用されている施設数と指定管理者制度導入済施設数								
	2			目標					
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	指定管理者制度導入施設	施設	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	民間のアイデア、ノウハウを活用した施設管理運営により、市民サービスの向上
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	民間のアイデア、ノウハウを活用した施設管理運営により、個人利用だけでなく、企画事業の開催による市民がスポーツに触れる機会の増加
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設状況を把握し、利用者からの要望に対する柔軟な判断による施設利用や効率的、効果的な施設運営
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内を始め県内、県外の幅広い利用の施設運営

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	当面は上記体育施設の指定管理を継続しながら、経費削減とサービス向上を図る。将来的には他の体育施設においても指定管理者制度の導入の検討を要する。	
今後の課題・方向性	鳥取地域のみではなく、市全域に範囲を広げて市域、県域等幅広く利用されている施設について指定管理者制度導入を検討、導入実施予定。 各施設において老朽化が進み、維持管理費の増加が見込まれる。大規模改修とならないよう計画的な維持管理を行う必要がある。 市全体のバランスを考えながら今後の施設のあり方を検討する必要がある。大規模改修、施設更新となった場合には、更なる民間の活力手法の検討や改修方法等を検討する必要がある。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	多くの市民がスポーツを楽しんだり、体力向上をはかったりする上で、スポーツ施設の維持管理は必要である。指定管理者制度の導入により経費削減とサービス向上がはかられている。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	指定管理に付す施設数を活動指標とすることは疑問が残る。指定管理制度を導入する事業目的に沿った事業となっているか否かについて、把握する取り組みが必要ではないか。
--------	---

V 学識経験者の意見（総評）

【中島廣光氏】

鳥取市の教育委員会の所掌する事業は、学校教育、社会体育、生涯学習、文化財など多岐に亘る。今回はその内、平成28年度の26の事業について、外部評価委員としてそれぞれの取組内容と進捗状況、課題などについて検討した。中には、事業内容や活動指標の設定に疑問があるものもあった。例えば、「未来のとっとり教育創造事業」では、

- 1) 保護者・地域とともに歩む魅力ある学校づくり
- 2) 子どもたちの主体的な学びをつくる ICT 活用
- 3) グローバル化に対応した英語教育

の3つの異なる取組を含んだ事業となっており、先進的な教育内容を含んでいる大事な事業であることは十分に理解できるが、3つ取組にほとんど関連性がなくストーリー性も乏しい。また、活動指標が1)の取組のコミュニティスクールの導入校数しかあげられておらず、事業全体の活動状況が明確には分からなかった。見せ方の改善が望まれる。

「特色ある小中9年教育支援事業」では鹿野小学校と鹿野中学校と地域が一緒になって小中一貫教育を実現しようとする興味深い試みである。中一ギャップの問題や、小学校での英語教科の実施、また、子どもの脳の発達と学習との関係を考えてとき、6・3制ではない制度の方が適している。ただし、この取組には制限があり、その一つは、建物は異なっても小学校と中学校とが距離的に近いこと、もう一つは、校区内に小学校と中学校が1校ずつの校区の方がやりやすいということ。今後、こういった取組が機能するようであれば市内全域に広めることも必要で、そのためには小学校の統廃合も含めた、長期的なビジョンに基づく実施計画を立てる必要がある。鋭意取り組んで欲しいと思う。

最後に、「地域で学ぶ職場体験活動事業」や「中山間地域ふるさと体験活動支援事業」などの学外での体験型学習を評価したい。特に「職場体験活動事業」では、中学校2年生全員が数名ずつグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する2-5日間、体験活動を行う。こういった活動により、自分が将来働くのだという意識をもつことができ、また、いろいろな人の働きにより地域が支えられていることを各自が実感することができる。学外での体験学習は、受け入れ側の制限などがあり、課題も多いと思うが、工夫して継続して頂きたい。

【石川真澄氏】

平成28年度より新たな教育振興基本計画の下での事業およびその評価となり、過去数年間の事業評価ではみられなかった事業が新たに対象に加わっている。教育委員会の事務事業においてはその成果を定量的に把握することが困難であったり、同一の事業名称の元に複数の事業が含まれるため単一の指標での評価では必ずしも事業の全体像を把握できなかつたりすることは、これまでと同様に事業評価を実施する上での大きな課題である。評価シートの記入欄も指標をアウトプットである「活動量」とすることとされており、結果として事業の効果や効率性の評価については主観的な側面が強くならざるをえない。そうした状況にあっても、事業の目標に対する効果を意識した評価を指向している担当課が少なからず存在し、ヒアリングの際に評価の根拠について明らかにしようとしていたことは、事業の自己点検制度の趣旨に沿うものとして高く評価できる。一方で、第三者としての私見ではあるが、計画した事業を計画通り実施したことをもって事業に高評価を与えているのではないかと疑われる例や、市として事業を実施する意義が弱いのではないかと感じられる例も、徐々にではあるがみられるようになっている。事業の自己点検や評価は教育委員会で事業を担当している担当課が自ら実施するものであり、自ら取り組んだ事業に否定的な評価を下すことは困難と思われるが、一方で適切に実施されれば事業の改善を図る有益なツールとなり得るものである。形式的な手続きとしての事業評価ではなく、有益な活用の図られるものとして発展することを期待したい。